

会 告 目 次

IPSJ TRANSCRIPT

IPSJ カレンダー	2
平成 8 年度第 38 回通常総会の開催について	4
1996 年「工学教育」連合講演会	4
研究発表会開催通知	5
第 41 回情報学基礎研究会	5
第 17 回グループウェア研究会	5
情報処理学会第 53 回全国大会講演・デモセッションの募集について	8
情報処理学会第 53 回全国大会講演申込書	13
第 53 回全国大会講演参加費送金連絡票	14
第 53 回全国大会デモンストレーション・セッション講演申込書	15
CPADS '96	16
「ソフトウェア開発のためのドメイン分析・モデリング技術シンポジウム」論文募集	17
国際会議 ISAAC 論文募集	18
SADS 97 Call for Papers	19
第 37 回プログラミング・シンポジウムの報告	20
情報処理学会「書籍」申込書	22
WWW (World-Wide-Web) の情報サービスについて	23
会員の皆様へのお知らせ・お願い	24
平成 8 年度研究会登録について	24
会費・購読費の預金口座自動振替のご利用について	25
預金口座振替依頼書	26
支部だより	27
人 材 募 集	28
会 議 案 内	15, 21

IPSJ カレンダー

★：共催

行 事 名	会 場 名	開 催 日	参加締切	掲載 ページ	担当
第 112 回自然言語処理研究会	徳島大	平成 8 年 3 月 14 日 (木) ～ 15 日 (金)	当日のみ	37-2 14p	研
第 25 回情報メディア研究会	情報処理学会	3 月 15 日 (金)	当日のみ	37-2 15p	研
第 50 回アルゴリズム研究会	中央大	3 月 15 日 (金)	当日のみ	37-2 15p	研
第 58 回情報システム研究会	日本ユニシス	3 月 19 日 (火)	当日のみ	37-2 16p	研
第 99 回コンピュータビジョン研究会	東京商船大	3 月 21 日 (木)	当日のみ	37-2 16p	研
情報処理教育と数理系カリキュラムシンポジウム	東京農工大	3 月 21 日 (木) ～ 22 日 (金)	3 月 7 日 (木)	37-2 32p	研
連続セミナー 95 生命科学とコンピュータ	工学院大	3 月 22 日 (金)	定員になり次第	37-2 33p	事
第 108 回ソフトウェア工学研究会	情報処理学会	3 月 22 日 (金)	当日のみ	37-2 17p	研
第 6 回プログラミング研究会	電気通信大	3 月 26 日 (火) ～ 27 日 (水)	当日のみ	37-2 17p	研
第 41 回情報学基礎研究会	情報処理学会	4 月 18 日 (木)	当日のみ	37-3 5p	研
第 17 回グループウェア研究会	情報処理学会	4 月 26 日 (金)	当日のみ	37-3 5p	研
★ 1996 年「工学教育」連合講演会	東京理科大	5 月 17 日 (金)	定員になり次第	37-3 4p	国
第 38 回通常総会	ニューサテライト ホテル (芝浦)	5 月 20 日 (月)		37-3 4p	総
オブジェクト指向 '96 シンポジウム	早稲田大	7 月 8 日 (月) ～ 9 日 (火)		37-1 11p	研
★ 画像の認識・理解シンポジウム	奈良県新公会堂	7 月 17 日 (水) ～ 19 日 (金)		36-10 21p	研
第 53 回全国大会	大阪工大	9 月 4 日 (水) ～ 6 日 (金)	(講演申込締切) 5 月 31 日 (金)	37-3 8p	事

【国 際 会 議】

行 事 名	会 場 名	開 催 日	照 会 先	掲載 ページ	担当
★ マルチメディア ジャパン '96	パシフィコ横浜	平成 8 年 3 月 18 日 (月) ～ 20 日 (水)	事務局	37-2 36p	国
★ 1996 Int'l Conference on Parallel and Distributed Systems (ICPADS '96)	ホテルストラダ 新宿	6 月 3 日 (月) ～ 6 日 (木)	事務局	37-3 16p	国
★ 1996 年東南アジア地域コンピュータ連合国際会議 (SEARCC '96)	バンコク (タイ)	7 月 4 日 (木) ～ 7 日 (日)	事務局		国
★ IFIP Congress 96-14th World Computer Congress (IFIPWCC '96)	キャンベラ (オーストラリア)	9 月 2 日 (月) ～ 6 日 (金)	事務局	36-5 8p	国
★ Intl' Conference on Advances in Production Management Systems (APMS '96)	京都国際会館	11 月 4 日 (月) ～ 6 日 (水)	事務局		国

【論文募集】

行事名	会場名	開催日	論文(応募)締切	掲載ページ	担当
DA シンポジウム '96	西浦温泉	8月29日(木) ～31日(土)	平成8年 4月12日(金)	37-2 35p	研
ソフトウェア開発のためのドメイン分析・ モデリング技術シンポジウム	上智大	9月12日(木) ～13日(金)	5月13日(月)	37-3 17p	研
Seventh Annual International Symposium on Algorithms and Computation (ISAAC)	大阪電気通信大	12月16日(月) ～18日(水)	5月15日(水)	37-3 18p	研
The Third International Symposium on ★ Autonomous Decentralized SystemI (ISADS 97)	ベルリン(ドイツ)	平成9年 4月9日(水) ～11日(金)	7月15日(月)	37-3 19p	国

【支部】

行事名	会場名	開催日	参加締切	掲載ページ	担当
東海支部 講演会	NTT データ通信 (株)	平成8年 3月18日(月)	定員になり次第	37-2 36p	海
北陸支部 見学会	富山県マルチメデ ィア情報センター	3月22日(金)	3月15日(金)	37-2 36p	北
北海道支部 情報処理北海道シンポジウム	北海道大	4月18日(木) ～19日(金)		37-3 27p	北
北海道支部 支部総会	北海道大	4月19日(金)		37-3 27p	北
東北支部 支部総会	東北大	4月24日(水)		37-3 27p	東
東海支部 支部総会	愛知厚生年金会館	5月10日(金)		37-3 27p	海

注1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。
注2) 研究会の発表申込締切は開催日の90日前です。年間予定表および研究会発表申込書は2, 4, 8月号に掲載されています。
注3) 担当欄の記号は次のとおりです。研:研究会係, 事:事業係, 国:国際係, 編:編集係, 総:総務係, 経:経理係, 会:会員係,
北:北海道支部, 東:東北支部, 海:東海支部, 陸:北陸支部, 西:関西支部, 中:中国支部, 四:四国支部, 九:九州支部。
各行事についての問合せ等は担当係までお願いします。

平成 8 年度 第 38 回通常総会の開催について

平成 8 年度通常総会を下記により開催いたします。ぜひご出席ください。なお、総会の案内状は、正会員各位に 4 月下旬別途郵送いたします。ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

記

日 時	平成 8 年 5 月 20 日 (月) 16 : 00 ~ 17 : 40
会 場	ニューサテライトホテル芝浦 鳳凰の間 (情報処理学会事務局隣り)
総会次第	1. 会長挨拶 2. 平成 7 年度事業報告および決算報告 3. 平成 8 年度事業計画および予算審議 4. 会費滞納会員の取扱いについて 5. 名誉会員の推挙について 6. 平成 7 年度功績賞の発表と表彰 7. 平成 7 年度論文賞の発表と表彰 8. 平成 7 年度 Best Author 賞の発表と表彰 9. 平成 7 年度坂井記念特別賞の発表と表彰 10. 平成 8 年度役員の改選について 11. その他

なお、総会終了後ささやかな懇親パーティ (無料) を行います。会員が一堂に会し、直接お話しができる得難い機会ですので、皆さまのご出席をお待ちしております。

1996 年「工学教育」連合講演会 — 産業構造の変革に対応した大学と企業での教育のあり方 —

日 時	平成 8 年 5 月 17 日 (金) 9 : 30 ~ 17 : 00
会 場	東京理科大学 1 号館記念講堂 (飯田橋) 東京都新宿区神楽坂 1-3 Tel.(03)3260-4271
主 催	日本工学教育協会
共 催	情報処理学会ほか 19 学協会
後 援	文部省 (依頼中) ほか
協 賛	日刊工業新聞社ほか
定 員	300 名 (先着順, 定員になり次第締め切ります)
参 加 費	(資料代, 消費税を含む) 主催学協会会員 : 5,000 円, その他 : 7,000 円
参加費振込先	住友銀行上野支店 (普通) 844300 (社) 日本工学教育協会口座
申 込 先	東京都港区三田 3-5-21 三田アルスビル (社) 日本工学教育協会 連合講演会事務局 Tel.(03)5442-1021 Fax.(03)5442-0241 担当 守屋

プログラム

開会挨拶	実行委員長 白石振作
基調講演 「21 世紀の日本の技術開発と工学教育」	東北大 西澤潤一
セッション 1	
講演 1 「90 年代後半の製品開発に求められる材料開発者の教育」	日経 BP 丸山正明
講演 2 「通信衛星を利用した大学教育とリフレッシュ教育」	東工大 清水康敬
セッション 2	
講演 3 「アジア工科大学院 (AIT) における工学教育」	東 大 村井俊治
講演 4 「技術・技能の伝承と教育」	阪 大 岩田一明
セッション 3	
講演 5 「グローバルエンジニアの育成」	三菱総研 山田郁夫
講演 6 「産業活動のグローバル化に適した人材育成 (仮題)」	三菱化学アメリカ 小沼和彦

研究発表会開催通知

(平成8年4月1日～4月30日)

◆第41回 情報学基礎研究会

(発表件数：8件)

(主査：中川 優，幹事：木本晴夫，中谷多哉子，三池誠司)

日 時 平成8年4月18日(木) 10:00～16:30

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

[東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F. JR: 田町(東口)下車, 徒歩7分. または地下鉄(浅草線, 三田線): 三田下車, 徒歩10分. Tel.(03)5484-3535]

議 題

10:00～12:00]

- 1) 国立国会図書館のデータベースと情報検索 杉山時之(国立国会図書館)
- 2) ベクトル型検索手法による絵画データベースの検索 安形 輝, 増田美子, 上田修一(慶大)
- 3) 学術情報センターにおけるオンラインDBとIRシステムの連携—目録系データベースの構成— 大山敬三, 高須淳宏, 鶴岡 弘(学情センター)

13:00～16:30]

- 4) 特別講演: Information Retrieval as Interactive Cognitive Processes Peter Ingwersen (Royal School of Librarianship)
- 5) The Interactive Multi-directional Information Displaying System 木本晴夫(NTT)
- 6) 3次元情報検索インタフェース 柿元俊博(富士通研)
- 7) 異種データベースに対する統合的情報検索 諸橋正幸, 武田浩一(日本IBM)
- 8) 単語出現共起関係を用いた文書重要度付与の検討 高木 徹, 木谷 強(NTT データ)

◆第17回 グループウェア研究会

(発表件数：10件)

(主査：松下 温，幹事：星 徹，宗森 純，山上俊彦)

日 時 平成8年4月26日(金) 9:30～17:30

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)(所在地は前記参照)

議 題 特集: 教育とグループウェア、および一般

9:30～12:30]

- 1) モバイル環境におけるマルチグループウェアネスの考察 前田典彦(NTT)
- 2) マルチメディア型遠隔技術相談システムにおけるQoSコントロール機能 井口信和(和歌山県工業技術センター), 高坂知子, 内尾文隆, 津田 達(和歌山大)
- 3) 実環境指向WWW: Real World Wide Webに関する考察 葛岡英明(筑波大)
- 4) 分散マルチメディア文書同時共有ミドルウェアのグループ学習への応用 田淵仁浩, 大泉俊雄(NEC)
- 5) 遠隔授業支援システムの提案 宗森 純, 井上 穰, 由井園隆也, 長澤庸二(鹿児島大)

13:30～17:30]

- 6) 分散協調学習環境における学習者間のコミュニケーションの検討 稲葉晶子, 岡本敏雄(電通大)
- 7) 分散環境でのグループ学習におけるコミュニケーション・スキルまとめ役の果たす役割と学習の生産性— 香山瑞恵, 岡本敏雄(電通大)
- 8) 遠隔教育システムにおける1対多の対話支援機構の設計 香川修見, 上林彌彦(京大)
- 9) 遠隔教育システムにおける効率的な質問作成の支援 香川修見, 神谷泰宏, 今井裕之, 上林彌彦(京大)
- 10) 招待講演: 教育とグループウェア 岡本敏雄(電通大)

~~~~~

## ▶プログラミング研究会

前号(2月号)掲載の第6回研究会会告の10件目へ以下の発表を追加いたします。3月26日(火)の終了時間は、当日の16:35から17:15に延長されます。

レジスタ付き時間ベトリネットで記述された分散システムの時間制約付き全体仕様からその時間制約を満たす各ノードの動作記述の自動導出 山口弘純, 岡野浩三, 東野輝夫, 谷口健一(阪大)

\*\*\*\*\*  
\*\*\*研究会 論文・参加募集\*\*\*

**発表申込方法** 研究会発表申込書の様式で、発表題目、発表者名（登壇者に○）、略称所属、概要（50字程度）、発表申込者連絡先（住所、氏名、Tel., Fax., e-mail）を記入の上、各研究会照会先まで**e-mail**または**Fax.**で直接お申し込みください。下記の研究発表会以外および特に指定がない研究会は、事務局研究会担当宛（e-mail:sig@ipsj.or.jp Fax.(03)5484-3534）に開催日の3ヵ月前までにお申し込みください。

◆コンピュータビジョンとイメージメディア研究会

第100回記念研究会

ーコンピュータビジョン研究の過去、現在、未来ー  
参加募集

**日 程** 平成8年5月23日（木）・24日（金）

**会 場** 東京大学 山上会館

**議 題**

5月23日（木）

・特別企画：わが国におけるIP, CV研究の軌跡と現状

司会：村瀬 洋（NTT）

主査あいさつ（松山隆司（京大））／IP, CV研究会20年の軌跡（松山隆司（京大））／CVCV報告（久野義徳（阪大））／IUE報告（谷口倫一郎（九大））／プログラムコンテスト結果発表（和田俊和（岡山大））

・特別講演：メディア情報の処理とCV

司会：松山隆司（京大）

マルチメディアと分散処理の立場から（松下 温（慶大））ーグループウェアの展望ー／ヒューマンインタフェースの立場から（竹林洋一（東芝））／グラフィクスとCADの立場から（大野義夫（慶大））ーCGとCVー／情報メディアの立場から（田中 譲（北大））ー情報の編集、流通、管理のメディア技術ー／オーディオビジュアル複合情報処理の立場から（安田 浩（NTT））ーメディアフュージョンとサイバーワールドー

・パネル討論：激論これからのCV

司会：久野義徳（NTT）

パネリスト：大田友一（筑波大）、金谷健一（群馬大）、上田博唯（日立電子）、松山隆司（京大）

\*23日の研究会終了後、記念パーティを開催します。できるだけ予約をお願いします。（当日可）

予約締切：平成8年5月15日（水）、参加費：一般4,500円、学生3,000円（当日会場にて支払）、予約先：村瀬 洋（NTT） e-mail:cvim@eye.brl.ntt.jp

5月24日（金）

・招待講演

司会：松山隆司（京大）

マルチメディアからヒューマンメディアへ（原島 博（東大）、加藤俊一（電総研））／番組制作と画像処理（榎並和雅（NHK））

◆グループウェア研究会

**日 程** 平成8年6月13日（木）・14日（金）

**会 場** 会津大学

**議 題** 一般

**発表申込締切** 平成8年3月28日（木）（できるだけe-mailをお願いします。）

**照 会 先** 山上俊彦（NTT） e-mail:yam@nttmhs.ntt.jp Fax.(03)5200-9119

◆音楽情報科学研究会

夏のシンポジウム（合宿形式）

毎年恒例の夏のシンポジウムを、今年は千葉職業能力開発短期大学校において行う予定です。恒例の「深夜の討論会」もあり、今年も活発な討議・意見交換が予想されます。下記の要領で研究発表を募集しますので、奮ってご応募ください。

**日 程** 平成8年7月27日（土）・28日（日）

**会 場** 千葉職業能力開発短期大学校（千葉市中央区）

**発表申込締切** 平成8年4月26日（金）

**照 会 先** 松島俊明（東邦大） Tel.(0474)72-8237 Fax.(0474)74-6821 e-mail:matusima@is.sci.toho-u.ac.jp

\*参加者の宿泊については、会場近くの宿舎（6,000円程度、夜食・朝食込）を貸し切りで準備（40名限定、先着順）する予定です。宿泊をご希望の方は下記までお早めにお申し込みください。宿泊希望者が40名を越えた場合には、他の宿をご紹介します。

坪井邦明（千葉職業能力開発短大） Tel.(043)242-4166 Fax.(043)248-5072 e-mail:tsuboi@chiba-pc.ac.jp

~~~~~

◆コンピュータビジョンとイメージメディア研究会

記念資料集頒布のご案内

第100回CV研究会およびその前身であるイメージプロセッシング(IP)研究会創設20周年にあたり記念資料集を頒布します。部数限定(複写厳禁)ですのでお早めにご予約ください。郵送希望の方は、現金書留にて代金を予約先住所にお送りください。なお、資料の発送は記念研究会終了後とさせていただきます。

予約締切 平成8年4月15日(月)

価 格 2,000円(当日受取の場合)、3,000円(郵送希望の場合)

内 容 IPおよびCV研究会の歴代主査、幹事の方の随想、メッセージ/IPおよびCV研究会のこの20年間の活動を中心とした年表/IP、CV関連の各種国内、国際学会での受賞論文リスト/IP、CV研究におけるマイルストーンの論文・書籍リスト(コメント付き)/IPおよびCV研究会の全論文リスト(著者インデックス、キーワード付き)など。

予 約 先 松山隆司(〒606 京都市左京区吉田本町 京都大学 工学部 電子通信工学教室)

e-mail:cvim@vision.kuee.kyoto-u.ac.jp

~~~~~

#### ◆モバイルコンピューティング研究グループ参加募集

##### モバイルコンピューティング'96シンポジウム

##### 一来るべきモバイルコンピューティングにおけるライフスタイル

日 時 平成8年5月10日(金) 10:00~17:30

会 場 郵政省飯倉分館[東京都港区麻布台1-6-19. 地下鉄(日比谷線):神谷町下車, 徒歩10分.]

主 催 情報処理学会 モバイルコンピューティング研究グループ

共 催 郵政省通信総合研究所, 日本サテライトオフィス協会

参 加 費 一般12,000円, 学生6,000円

\*今回のシンポジウムに申し込まれた方は、平成8年度モバイルコンピューティング研究グループの活動に無料で参加することができます。

申込締切 平成8年4月15日(申込者多数の場合は、先着300名で締め切らせていただきます。)

申込/照会先 寺岡文男(〒141 品川区東五反田3-14-13 ソニー CSL)

e-mail:tera@csf.sony.co.jp http://www.csf.sony.co.jp/sig-mbl/

##### プログラム

● 基調講演 : 飛躍するモバイルコンピューティングの課題と将来

水野忠則(静岡大)

● 招待講演1 : モバイル時代の生活と行動

京増弘志(ニフティ)

● 招待講演2 : 電脳強化環境

坂村 健(東大)

● 招待講演3 : マルチメディア移動通信の展望

稲田修一(郵政省)

● 招待講演4 : エージェント通信によるモバイルサービスの展開

中村 稔(NTT)

● パネル討論 : モバイルコンピューティング・ビジネスの展開

司会: 松下 温(慶大)

#### ◆モバイルコンピューティング研究グループ論文募集

日 程 平成8年7月26日(金)

会 場 NTT データ(予定)

発表申込締切 平成8年4月26日(金)(できるだけe-mailをお願いします。)

申込・照会先 岡田謙一(慶大) e-mail:okada@inst.keio.ac.jp Fax.(045)562-7625

## 情報処理学会第53回全国大会（会場：大阪工業大学）

大会テーマ 「グローバル・ネットワーク社会への貢献—新しい情報処理技術の確立を目指して—」

### 講演・デモセッションの募集について

今回の全国大会から上記の大会テーマのもとに大会プログラムを構成いたします。また、従来の一般講演のほかに「デモンストレーション・セッション」を広く募集いたしますので、講演、デモセッションを希望される方は下記事項をご熟読の上、お申し込みください。なお、今回から、該当分野キーワードが大幅に改訂されておりますのでご注意ください。

日 程 平成8年9月4日（水）～9月6日（金）

会 場 大阪工業大学（大阪府枚方市北山）

#### A. 講演申込

講演資格 資格不問

申込方法 1. 本学会告掲載の「講演申込書」に必要事項を記入してお申し込みください。

なお、講演論文の該当分野は、次のように記入してください。

例：アーキテクチャサイエンス（大項目）の設計自動化（中項目）のレイアウト合成（小項目）の場合は、「0010405」と書いてください。

2. 講演者は「講演申込書」に「送金連絡票」を添えて申し込むこと。

#### 講演申込書の提出

（連続講演希望の場合）別に内訳書を添付（書式自由）し、その旨明記の上まとめて提出。

なお、複数の講演申込をする場合も、別に内訳書を添付（書式自由）し、まとめて提出。

申込件数 登壇発表は原則として1人1件とします。

講演内容 1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。

2. 発表は日本語または英語とします。

#### 発表当日の講演者心得

1. 講演の始まる前に、必ず総受付の講演者受付で、出席の確認を受け、自分の講演論文が掲載されている論文集（無料）、大会プログラムおよび参加章を受け取ってください。

2. 必ず前の講演者の講演時間中には、座長席の近くに設けられた講演者控え席で待機してください。

3. 一般講演の時間は、質疑を含めて15分間とします（都合により13分間のセッションもあります）。講演中でも持ち時間が切れれば打ち切ります。

4. 講演終了予定時刻の5分前および3分前に座長補佐がベルで合図します。

5. 講演の代理（読）は認めません。

6. 講演のキャンセルは、会期前は本学会事務局までFax。または電子メールにて、大会会期中は総受付（電話番号は追って会告します）まで口頭で、すみやかにご連絡ください。

講演参加費 1. 本学会ならびに4学会（電子情報通信、電気、テレビジョン、照明）の正会員（会員番号所持者）9,000円

2. 本学会ならびに4学会（電子情報通信、電気、テレビジョン、照明）の学生会員（会員番号所持者）5,000円

3. 1., 2. に該当しない方

一般：19,000円、学生：9,000円

上記1., 2. は、すでに会員番号を持っている方に限られます。なお、入会申請中の場合（講演申込と入会申請が同時の場合も可）は、本学会への入会申請に限られます。講演申込締切後、会費のお支払状況を含めて講演資格の審査を行いますのでご注意ください。

#### 講演参加費の納入

1. 講演参加費は、講演申込時持参、または請求書到着後速やかに納入してください。

なお、参加費は、講演のキャンセルをされてもいただきますのでご注意ください。

2. 請求書は6月中旬の発送となります。

#### 講演申込締切 平成8年5月31日（金）必着

締切日の厳守を徹底しますので、「講演申込書」等は必ず期日までにお出しください。一日でも遅れると発表できなくなりますので、特にご注意願います。なお、お申込みは郵送、持参または電子メールでお願いします。（Fax. は不可）

**申込書受付受領書**

受領書を希望される方は、官製はがきに返信先を記入し同封のこと。

なお、電子メールによる申込みの場合は受領メールを返信いたします。

**Ⅴ 機器の使用** OHPは全講演者に対し準備いたしますが、ビデオについては数に限りがありますので、「講演申込書」に必ずご記入ください。なお、これら以外の機器はお持ち込みとなります。

**講演番号** 申込受付終了後、該当分野キーワードによりプログラム編成を行い講演番号を決定します。講演番号が決定されますと発表セッション等の変更はできません。

論文の該当分野キーワードは十分ご確認のうえご記入ください。

**講演番号等の通知** 申込受付後、講演番号・論文執筆要領・参加章引換券・登録原稿（学術情報センター用データシート）を6月中旬に発送します。

**Ⅵ. 論文原稿提出**

1. 論文は日本語または英語とします。
2. 論文抄録を「学会発表データベース（第一系）、学術情報センター」に入力しますので、所定の用紙および記入要領に従って記入のうえ論文と一緒に提出してください。なお、著作権は学術情報センターと学会との共有です。
3. ワードプロ、タイプで作成した原稿はプリントした原文をお使いください。
4. 論文原稿提出後の訂正は一切取り扱いません。よく推敲して提出してください。
5. 原稿の返却はいたしません。

**論文の採否** 講演論文の採否は大会プログラム委員会が決定します。採択しないものはたとえば次のような場合です。

1. 論文の内容が著しく不十分なもの。
2. 内容が商業宣伝に偏したもの（極端な商品名の引用には注意する）。
3. 同一または類似の発表がなされており、かつ前進がないもの。
4. 応募規程に違反するもの。
5. 提出期限に遅れたもの（次回への応募をお勧めします）。

**論文受付受領書**

受領書を希望される方は、官製はがきに返信先を記入し同封のこと。

**発表論文の別刷** 作成はしません。

**講演論文提出締切** 平成8年7月16日（火）（必着）

**Ⅶ. デモンストレーション・セッションの発表／講演**

第53回全国大会では、新しい試みとしてデモンストレーションを主としたセッションを設けます。積極的な参加を期待いたします。

**講演資格** 一般講演で発表される方

**講演参加費** 一般講演参加費に含まれます。

**主旨)**

研究分野として、計算機の機器を直接利用して、聴講者に表示したほうがわかりやすい研究素材が存在すると考えられます。たとえば、

GUI(Graphical User Interface)の研究,  
UI(User Interface)の研究,  
ワードプロセッサの研究,  
形態に関する研究（モニタ機能、Mobile 関連など）

第53回全国大会では、上記の主旨にかんがみ、デモンストレーション・セッションを開催し、デモブースを設け、講演発表者に開放し、研究／開発の成果を展示できるようにいたします。

さらに、情報関連の機器、ソフトウェア等の関連製品の展示をメーカより募ります。

**講演申込** 一般講演、論文原稿提出、講演申込・論文提出先、その他：一般講演に準じます（一般講演の申込みと同時に行ってください）。

2. デモンストレーションの開催日：平成8年9月4日 9:00～15:00  
 9月5日 9:00～15:00  
 9月6日 9:00～15:00  
 (9月3日に機器の搬入、デモのリハーサル 9月5日15:00以降に機器の搬出を予定)
3. デモンストレーションにかかる費用：機器の搬入／搬出費、設置費、現調費  
 展示の装飾費等は講演者、発表者／展示者負担とします。
4. 学会が支援する設備：デモブース(展示スペース)、電源、プロジェクタ、通信回線、ビデオ放映設備を予定しております。デモンストレーション・セッションを申込まれる場合は所用の設備条件、スペース、レイアウト等を申込書の所定欄にご記入下さい。不明点、詳細は照会先にご相談下さい。
5. 注意事項：全国大会の現地環境、設備等の量的な制約がありますので、申込みを頂いても対応できない場合はご容赦願います。デモンストレーション・セッションのプログラムは申込みをまとめた後に、提示致します。

#### D. 講演申込・講演論文提出先

(郵送) (社) 情報処理学会 全国大会係

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

(持参) (社) 情報処理学会事務局

JR 山手・京浜東北線田町駅芝浦側(東口)下車、徒歩5分、三和銀行右隣芝浦前川ビル 7F。

受付時間 9:00～17:15

#### E. その他

##### 大会プログラム

学会誌8月号(平成8年8月15日発行)に掲載いたします。発表者は特にご注意ください。

- 表彰 1. 全国大会に発表された論文のうち、特に優秀なものの10編を大会優秀賞として表彰します。また全国大会で発表を行った方のうち、情報処理に関連する学術、技術の奨励のため、有為と認められる新進の科学者または技術者10名を大会奨励賞として表彰します。
2. 大会奨励賞・大会優秀賞の表彰対象者は、本学会個人会員に限られます。

照会先 (社) 情報処理学会 全国大会係

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F Tel.(03)5484-3535 Fax. (03)5484-3534

e-mail:jigyoe@ipsj.or.jp http://www.ipsj.or.jp

#### E. 該当分野キーワード

| 大項目              | 中項目                        | 小項目<br>( )は該当項目のないときに分野名を記入                                                                                                                                                                                      |
|------------------|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 001 アーキテクチャサイエンス | 01 計算機アーキテクチャ              | 01 計算機システムアーキテクチャ, 02 アーキテクチャ全般(プロセッサ, 相互結合網, メモリ, 磁気ディスク, I/Oを含む), 03 フォールトトレランス, リアルタイムシステム, 04 ソフトウェアシステム(OS, コンパイラ, ツール)とのインタフェース, 05 並列処理アーキテクチャ, 06 並列処理ハードウェア, 07 VLSI アーキテクチャ, 08 専用プロセッサ(DSPなど), 99 その他 |
|                  | 02 システムソフトウェアとオペレーティングシステム | 01 システム性能評価, 02 オペレーティングシステム全般(プロセス管理, メモリ管理, ファイルシステムを含む), 03 OS 構成法, 04 並列/分散OS, 05 ネットワーク実現技術, 06 ネットワークプロトコル, 07 サーバ実現技術, 08 リアルタイムシステム, 09 言語処理系, 10 ネットワークセキュリティ, 11 モバイルコンピューティング, 99 その他                 |
|                  | 03 ハイパフォーマンスコンピューティング      | 01 計算科学(数値計算), 02 シミュレーションの理論と実際(モデル化, アルゴリズム, 品質保証), 03 高速・高性能システム(超並列WS), 04 利用技術/性能評価と提言, 05 計算と計算機を結ぶ技術(可視化, 言語, データ配置, 最適化, デバッグツール等), 99 その他                                                               |
|                  | 04 設計自動化                   | 01 設計自動化技術(集積回路, 装置システム等), 02 エレクトロニクス用DA/CAD, 03 HDL, 04 論理合成, 05 レイアウト合成, 06 形式的検証, 07 テスト, 99 その他                                                                                                             |
| 002 ソフトウェア科学・工学  | 01 アルゴリズム                  | 01 グラフやネットワークに関するアルゴリズム, 02 計算幾何学と計算代数学, 03 暗号系や認証のアルゴリズム, 04 確率アルゴリズムと近似アルゴリズム, 05 分散・並列アルゴリズム, ハードウェアアルゴリズム, 06 データ構造, 07 オートマトン・計算複雑度理論, 08 オンラインアルゴリズム, 09 文字列処理, 10 アルゴリズムの応用と実用, 99 その他                    |

| 大項目             | 中項目               | 小項目<br>( )は該当項目のないときに分野名を記入                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----------------|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 003 人工知能と認知科学   | 02 数理モデル化と問題解決    | 01 数理モデル化全般と解法, 02 オペレーションズリサーチ, 03 グラフ理論やネットワークフロー理論, 04 逆問題, 05 モデル化の教育, 06 各種モデルの応用, 07 定式化, 99 その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                 | 03 ソフトウェア工学       | 01 要求定義, 設計手法, 02 形式的仕様, 03 開発管理, 04 メトリクス, 05 検査, 検証, 06 ソフトウェア開発支援環境や CASE, 07 標準化, 08 再利用, プログラム合成, 09 人的要因, 教育, 10 ソフトウェアプロセス, 11 知識処理技術のソフトウェア工学への応用, 12 品質, 13 保守, 14 リバースエンジニアリング, 15 プロトタイピング, 99 その他                                                                                                                                                                                                                                         |
|                 | 04 プログラミング        | 01 プログラミング言語の基本概念・設計原理・実装技術, 02 各種プログラミング, 03 プログラミング方法論 (ビジュアルプログラミング等), プログラミング環境 (処理系, ツール等), 04 プログラミング技術 (ガーベジコレクション等), 05 並列化コンパイラ, 並列処理言語, 並列デバッグ, 06 分散オブジェクト指向プログラミング (Java 等), 99 その他                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                 | 01 人工知能           | 01 知識表現, 02 推論・探索, 03 学習, 04 認知モデル, 05 ニューラルネット, 06 知識ベース, 07 オントロジ, 08 知識交換言語, 09 エキスパートシステム, 10 分散・協調 AI, 11 ファジー理論, 12 パターン・自然言語の理解, 13 知的インタフェース, 14 AI アーキテクチャ, 15 複雑系, 16 人工生命, 17 生体情報処理, 18 遺伝的アルゴリズム, 19 知能メカニズム関連研究と応用システム, 20 エージェントモデル, 99 その他                                                                                                                                                                                            |
|                 | 02 自然言語処理         | 01 言語理論, 02 言語行動, 03 言語資料・統計, 04 辞書 (レキシコン), 05 言語コーパス, 06 形態素解析, 07 統語解析, 08 意味解析, 09 文脈解析, 10 対話 (システム), 11 談話理解・語用論, 12 知識表現, 13 機械翻訳, 14 自然言語処理ソフトウェア, 15 自然言語インタフェース, 16 校正支援, 99 その他                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 004 データベースとメディア | 03 音声言語情報処理       | 01 音声言語情報処理 (音声の分析・加工・合成・認識・理解, 話し言葉の解析・解釈・生成), 02 音声言語処理システム (ディクテーション, 音声対話, 音声翻訳), 03 言語モデルと音声言語コーパス, 04 音声インタフェースと音声応用, 99 その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|                 | 04 視覚情報処理         | 01 視覚認識, 02 視覚・映像メディア処理, 03 画像処理, 04 画像理解, 05 物体認識, 06 文字・図形の処理と認識, 07 3次元復元, 08 ステレオ視, 09 運動解析, 10 距離解析, 11 色彩解析, 12 ロボットビジョン, 13 画像処理プロセス, 14 画像・ビデオ映像の知的編集および知的映像効果の生成, 15 立体テレビ, 16 人物画像処理, 99 その他                                                                                                                                                                                                                                                |
|                 | 05 音楽情報科学         | 01 計算機の介在した作曲・編曲・演奏・伴奏, 電子楽器, 02 音楽信号処理, 03 AI と音楽, 04 音楽の認知・知覚・感性情報, 05 音楽情報処理システム, 06 音楽学や音楽芸術と計算機技術, 99 その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 005 ネットワークサイエンス | 01 データベースとメディア    | 01 データモデル, 02 データベース言語・DBPL, 03 データベース設計・システム分析設計, 04 一貫性制約・アクティブ DB, 05 DBMS, 06 質問処理, 07 トランザクション管理・OLTP, 08 物理的記憶構造, 09 信頼性・障害時回復・安全性, 10 超並列 DB, 11 DB 専用ハードウェア (RAID など), 12 分散型 DB・マルチ DB, 13 データウェアハウス, 14 情報資源管理とリポジトリ, 15 オブジェクト指向 DB, 16 マルチメディア DB (テキスト DB・画像 DB・動画画像 DB・VOD など), 17 履歴 DB・版管理, 18 地理 DB・空間データ管理, 19 オフィス情報システム, 20 グループウェア DB, 21 エンジニアリング DB, 22 サイエンティフィック DB・遺伝子 DB, 23 データベース発掘・知識発見, 24 モバイル DB, 25 DB 高度応用, 99 その他 |
|                 | 02 情報検索           | 01 情報検索技術, 02 シソーラス, 03 ハイパertext・ハイパメディア, 04 インターネット DB (エージェントなど), 05 電子図書館, 06 全文検索, 07 ペンチマーク, 99 その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                 | 03 メディアと情報        | 01 情報の表現・識別・分類・評価・検索・流通・管理, 02 情報概念体系, 03 辞書・用語, 04 大量情報の組織化, 05 情報の知識化, 06 マルチメディアコンテンツ創作・表現・編集, 07 マルチメディアコンテンツ検索・流通・管理, 08 メディア論, 09 構造化記述 (SGML, HTML, VRML など), 99 その他                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 005 ネットワークサイエンス | 01 マルチメディア通信と分散処理 | 01 コンピュータネットワーク, 02 高速通信, 03 分散コンピューティング, 04 マルチメディア情報通信, 05 知的通信, 06 プロトコル, 07 分散協調, 08 ネットワークセキュリティ, 09 電子メール, 10 ネットワークアーキテクチャ, 99 その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                 | 02 分散システム運用       | 01 コンピュータネットワーク運用・管理, 02 ダウンサイジング (クライアント/サーバ), 03 ライセンシング, 04 セキュリティ, 05 教育・技術移転, 99 その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

| 大項目              | 中項目             | 小項目<br>( )は該当項目のないときに分野名を記入                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------------------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 006 インタフェースサイエンス | 03 マルチメディア符号化   | 01 高品質・低ビットレート画像, 02 音声信号処理, 03 符号化システム, 04 マルチメディアの国際標準化 (MPEG, DAVIC 等), 99 その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                  | 01 ヒューマンインタフェース | 01 計算機システムのインタフェース, 02 マルチメディア/マルチモーダルインタフェース, 03 コミュニケーションとインタフェース, 04 協調作業のインタフェース, 05 文書処理のインタフェース, 06 認知情報処理, 07 インタフェースデザイン技法, 08 インタフェース評価法, 09 知的ヒューマンインタフェース, 11 感性情報処理, 12 ヒューマンファクタ, 13 障害者補助, 99 その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                  | 02 グループウェア      | 01 協調基礎 (組織, 認知, 社会心理, 行動科学), 02 グループ応用 (意思決定, 協同設計, 発想, 教育), 03 グループワークインフラ (ワークフロー, グループ通信), 04 分散オフィス, 05 マルチユーザのインタフェース, 06 電子会議, 電子掲示板, 07 事例, 99 その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|                  | 03 グラフィクスとCAD   | 01 形状モデリング, 02 CG システム, 03 CG 用モデリング (モーションキャプチャリングやフラクタル等), 04 レンダリング, 05 CG 応用 (アニメーション, イラスト等), 06 CAD / CAM システム, 99 その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                  | 04 仮想現実感        | 01 センサ (磁気, 超音波, 生体信号等), 02 感覚提示技術 (視覚, 聴覚, 力覚等), 03 仮想環境とシミュレーション, 04 仮想物体の操作, 05 コミュニケーション技術, 06 臨場感通信とテレプレゼンタンス, 07 AR (強化された現実), 08 応用事例, 99 その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 007 コンピュータと人間社会  | 01 情報システム       | 01 情報システムの分析・設計・構築・運用と利用, 02 情報ニーズ, 情報・データの管理などの理論と実際, 03 情報システムと人間・組織・社会との相互関連, 04 情報システムのマネジメント (情報システム監査, 危機管理など), 05 産業分野への応用, 06 公共分野 (社会) への応用, 07 企業経営と情報システム, 08 新しい情報技術 (インターネット, モバイルなど) の活用, 99 その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|                  | 02 コンピュータと教育・学習 | 01 情報教育, 02 CAI・教育工学, 03 カリキュラム, 04 教育システム, 05 教材開発支援ツール, 06 コンピュータリテラシ, 07 アミューズメント, 99 その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                  | 03 コンピュータと社会    | 01 人文・社会科学における情報処理, 02 博物館・美術館における情報処理, 03 マルチメディアシステムの応用, 04 知的所有権, 05 情報の社会的側面, 06 情報倫理, 07 防災と情報, 99 その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                  | 04 医療分野への応用     | 01 基礎医学, 02 臨床医学, 03 社会医学, 04 医療情報システム, 05 歯学, 06 薬学, 99 その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                  | 05 企業活動への応用     | 01 電子商取引, 02 CALS, 03 コンカレントエンジニアリング, 04 システムインテグレーション, 05 生産スケジューリング, 06 意思決定支援システム, 99 その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                  | 06 標準化          | 01 規格・標準化, 99 その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 008 その他          |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 999 グローバル・ネットワーク | 01 グローバル・ネットワーク | 01 ネットワーク実現技術, 02 ネットワークプロトコル, 03 ネットワークセキュリティ, 04 モバイルコンピューティング, 05 暗号と符号, 06 ビジュアルプログラミング, 07 分散・協調 AI, 08 分散型 DB・マルチ DB, 09 情報資源管理, 10 モバイル DB, 11 情報検索技術, 12 シソーラス, 13 ハイパテキスト・ハイパメディア, 14 インターネット DB, 15 電子図書館, 16 全文検索, 17 ベンチマーク, 18 マルチメディア文書作成, 19 マルチメディア文書流通, 20 マルチメディア文書検索と表示, 21 構造化記述, 22 コンピュータネットワーク, 23 高速通信, 24 分散コンピューティング, 25 マルチメディア情報通信, 26 知的通信, 27 プロトコル, 28 分散協調, 29 電子メール, 30 ネットワークアーキテクチャ, 31 コンピュータネットワーク運用・管理, 32 ダウンサイジング, 33 ライセンシング, 34 教育・技術移転, 35 高品質・低ビットレート画像, 36 音声信号処理, 37 符号化システム, 38 マルチメディアの国際標準化, 39 マルチメディア/マルチモーダルインタフェース, 40 コミュニケーションとインタフェース, 41 協調作業のインタフェース, 42 協調基礎, 43 グループ応用, 44 グループワークインフラ, 45 分散オフィス, 46 マルチユーザのインタフェース, 47 電子会議, 電子掲示板, 48 グループウェア事例, 49 人文・社会科学における情報処理, 50 博物館・美術館における情報処理, 51 マルチメディアシステムの応用, 52 知的所有権, 53 情報の社会的側面, 54 情報倫理, 55 電子商取引, 56 防災と情報, 99 その他 |

|           |  |
|-----------|--|
| 掲載<br>ページ |  |
|-----------|--|

|    |    |  |
|----|----|--|
| 受番 | 付号 |  |
| 講番 | 演号 |  |

|                    |     |     |                                                                                                                                                                                                                                                                          |          |                                    |
|--------------------|-----|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|------------------------------------|
| 票 題注 1)            |     |     |                                                                                                                                                                                                                                                                          |          | デモンストレーションセッション申込                  |
| フリガナ注 1)           |     |     |                                                                                                                                                                                                                                                                          |          | 有<br>or<br>無                       |
| 著者名                |     |     |                                                                                                                                                                                                                                                                          |          |                                    |
| 所属名                |     |     |                                                                                                                                                                                                                                                                          |          |                                    |
| フリガナ注 1)           |     |     | ←注) 登壇者を○印で表示してください<br>(氏名の左上)                                                                                                                                                                                                                                           |          | 有の場合、デモンストレーション・セッション講演申込書に記入願います。 |
| 著者名                |     |     | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ビデオ希望</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">正会員</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">学 生</div> (○印で囲む) |          |                                    |
| 所属名                |     |     |                                                                                                                                                                                                                                                                          |          |                                    |
| 該当分野<br>キーワード 注 2) | (1) | (2) | * 1 注 3)                                                                                                                                                                                                                                                                 | * 2 注 3) |                                    |

- ※1) 学会誌および会場配布用の「プログラム」は本欄記入事項により作成しますので、提出後の題目、氏名の変更はできません。
- ※2) 本会告の該当分野キーワードを参照し、できるだけふさわしい分野をご記入ください。優先順位順に複数分野を記入してけっこうです。
- ※3) 複数件講演申込みをされる方は他の申込書の論文該当分野を上欄の\* 1 または\* 2 に記入してください。

論文要旨 (300 字程度)

論文要旨（300 字程度）

|      |  |                  |
|------|--|------------------|
| 講演番号 |  | 楷書でハッキリ記入してください) |
|------|--|------------------|

送付先

機関・部課名

フリガナ

講演者氏名

Tel. \_\_\_\_\_

e-mail \_\_\_\_\_

(ext. \_\_\_\_\_)

Fax. \_\_\_\_\_

第53回全国大会講演参加費送金連絡票

|          |  |
|----------|--|
| 受付<br>番号 |  |
|----------|--|

- この連絡票は講演参加費の入金を正確に把握するためのものです。下記の点に注意してご記入ください。
- 1. 1件につき、5学会会員は9,000円、学生は5,000円。5学会非会員は一般19,000円 学生9,000円です。
  - 2. 講演不採択の場合は、講演参加費は返却しますが、申込後取消の場合は返却しません。
  - 3. 講演参加費は、講演申込書に現金を添えて学会事務局に持参くださるか、あるいは郵便振替を原則とします。
  - 4. 事務の簡素化のため、現金持参以外の方はすべてこの用紙に記入し、機関ごとにまとめてご提出ください。
  - 5. やむをえず銀行振込の場合は、所定の銀行口座 [三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会口座No.0003774] にご送金ください。  
なお、座長、プログラム委員および現地実行委員は無料です。  
ただし、2件以上の場合には1件増すごとに、5,000円か9,000円か19,000円をご送金ください。  
注：ご送金は講演発表者名でお願いします。
  - 6. 2件以上まとめて支払う場合には講演者氏名欄に各講演者名をもれなくご記入ください。（連名者の氏名は記入しないでください。）
  - 7. 支払い件数が多く、下の票に講演者名が書ききれない場合は別紙（書式自由）を添付してください。
  - 8. 講演参加費は消費税対象外です。

|                                                                                                                                              | 5学会会員 | 5学会学生会員 | 非会員 | 非会員学生 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------|-----|-------|
| 講演者氏名                                                                                                                                        | ○     | ○       | ○   | ○     |
|                                                                                                                                              | ○     | ○       | ○   | ○     |
|                                                                                                                                              | ○     | ○       | ○   | ○     |
| 小 計                                                                                                                                          | 円     | 円       | 円   | 円     |
| 合計金額                                                                                                                                         | 円     |         |     |       |
| 必要書類：請求書 通、 納品書 通、 見積書 通 領収書 通<br>*必要のない方は空欄のままで結構です。                                                                                        |       |         |     |       |
| 送金方法：□ 郵便振替 (00150-4-83484) *該当箇所にレ印を付けてください。<br>□ 銀行振込 銀行<br>(専用銀行口座：三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会普通口座No.0003774)<br>送金月日： 銀行 支店・ 郵便局から<br>月 日 送金人名義： |       |         |     |       |
| 通信欄：                                                                                                                                         |       |         |     |       |
| (楷書でハッキリ記入してください)                                                                                                                            |       |         |     |       |
| 講演参加費<br>取扱者連絡先                                                                                                                              | 〒     |         |     |       |
| 機関・部課名                                                                                                                                       |       |         |     |       |
| フリガナ<br>氏 名                                                                                                                                  | 殿     |         |     |       |
| Tel. (ext. ) Fax.                                                                                                                            |       |         |     |       |

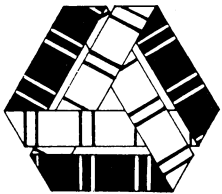
# 第 53 回全国大会 デモンストレーション・セッション講演申込書

設備条件等下記に記入してください。

|        |        |  |
|--------|--------|--|
| 受<br>番 | 付<br>号 |  |
| 受<br>番 | 付<br>号 |  |

|                                    |                                                                  |
|------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 展示希望日                              | 9 / 4, 9 / 5, 9 / 6 (いずれかに○を記入してください。<br>複数日の希望も可能です。)           |
| プロジェクトの使用の有無                       | 有・無 (いずれかに○を記入してください)                                            |
| ビデオ設備の使用の有無                        | 有・無 (いずれかに○を記入してください)                                            |
| 回線設備の使用の有無                         | 有・無 (いずれかに○を記入ください)<br>有の場合の回線トラフィック量: <input type="text"/> Kbps |
| 所用電力量                              | <input type="text"/> KVA                                         |
| 展示機器構成の概要を<br>Free Format で記入ください。 | <input type="text"/> 平方メートル                                      |
|                                    |                                                                  |

## 会議案内



各会議末のコードは、整理番号です (\* : 本年既掲載分,  
\*\* : 昨年既掲載分)。会議の詳細を知りたい方は、学会国際係へ  
切手 90 円を同封のうえ、請求ください。(国内連絡先が記載され  
ている場合は除く。) ○ : 本会主催・共催 ◆ : 本会協賛

1.開催日 2.会場 3.照会先 4.その他

## 国際会議] (続く)

テレポート '96 東京—世界テレポート連合第 1 2 回総会— (6012)

1. 1996 年 5 月 12 日 (日) ~ 16 日 (木) 2. 東京国際展示場 (東京都江東区) 3. 開催委員会事務局 (都庁企画審議室内)  
Tel.(03)5388-2170 e-mail:teleport 96@tokyo-teleport.co.jp

▶ The 9th International Conference on Industrial & Engineering Applications of Artificial Intelligence & Expert Systems (IEA/AIE-96)\*\* (6011)

1.1996 年 6 月 4 日 (火) ~ 7 日 (金) 2. ACROS 福岡 (福岡市) 3. 田中卓史 (福岡工大)  
Tel. (092)606-3131(ext.2297) e-mail:tanaka@fit.ac.jp http://www.fit.ac.jp/ieaaie.html

▶ 第 1 回光エレクトロニクス・光通信国際会議 (OECC '96) (6013)

1. 1996 年 7 月 16 日 (火) ~ 19 日 (金) 2. 幕張メッセ (千葉市) 3. 事務局 (学会事務センター)  
el. (03)5814-5800 4.原稿締切: 6 月 15 日

IFIP 5th International Workshop on Protocols for High-Speed Networks (PfHSN '96) (6014)

1. 1996 年 10 月 28 日 (月) ~ 30 日 (水) 2. INRIA Sophia Antipolis, France 3. pfhsn96@sophia.inria.fr 4. アブストラ  
クト締切: 5 月 10 日

▶ International Conference on Network Protocols (ICNP) (6009)

1.1996 年 10 月 29 日 (火) ~ 11 月 1 日 (金) 2. コロンバス, オハイオ州, 米国 3. 白鳥則郎 (東北大)  
Tel.(022)227-6200(ext.2355) e-mail:norio@shiratori.riec.tohoku.ac.jp



## ICPADS'96



1996 International Conference on Parallel and Distributed Systems

東京 新宿ホテルストラダ

1996 年 6 月 3 日 (月) ~ 6 日 (木)

CALL FOR PARTICIPATION

参加申し込みのお願い

本会議は、並列/分散システム、アルゴリズム、アーキテクチャ、データベースを始め、高速通信プロトコル、マルチメディア通信、モバイル・コンピューティング、グループウェア、エージェント、セキュリティ等広範囲にわたる分野での最新の研究成果と技術について議論を行うものであります。これまでに、1992 年から 1994 年まで、台湾にて開催され、本分野の最新の成果が発表され、熱心な議論が行われてまいりました。今回の ICPADS'96 は、第 4 回目の会議であり、日本では初めての開催であります。多数の皆様の出席をお願いいたします。

- 主催： 情報処理学会と IEEE コンピュータサイエンス (IEEE CS) の共催。
- 参加申し込み方法： 下記の参加申し込み書によってお申込下さい。
- 参加申し込み先： (社) 情報処理学会 業務部 ICPADS'96 担当 石丸 満枝  
〒 108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F  
TEL: 03-5484-3535 FAX: 03-5484-3534 e-mail: icpads96@ipsj.or.jp
- 問合せ先： 東京電機大学理工学部経営工学科 滝沢 誠  
〒 350-03 埼玉県比企郡鳩山町石坂 TEL: 0492-96-2911 ext. 2507 FAX: 0492-96-6185  
e-mail: taki@takilab.k.dendai.ac.jp http://takilab.k.dendai.ac.jp/conf/icpads96/

## ----- ICPADS'96 参加申し込み書 -----

ICPADS'96 の参加を下記の通り申し込みます。

1996 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

- 参加費 - ( ) 内は、5 月 1 日以降に申し込みを行なった場合の参加費です

[A] 会議参加費 ☐ 会員：40,000(45,000) 円 ☐ 非会員：50,000(55,000) 円 ☐ 学生：15,000(20,000) 円

[B] Advanced Technology Seminar 参加費 (いずれか 1 つをチェックしてください)

**1A. Groupware and Workflow Systems : Where Technical and Social Issues Merge ?**

Prof. Jonathan Grudin, UC Irvine, U.S.A.

**1B. ATM : Bandwidth Allocation, Congestion Control and Internetting**

Prof. Mario Gerla, UCLA, U.S.A.

|                             | <input type="checkbox"/> 会員 | <input type="checkbox"/> 非会員 | <input type="checkbox"/> 学生 |
|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1A | 10,000(12,500) 円            | 15,000(18,500) 円             | 5,000(6,000) 円              |
| <input type="checkbox"/> 1B | 10,000(12,500) 円            | 15,000(18,500) 円             | 5,000(6,000) 円              |

[C] 昼食用弁当 ☐ 4,000 円 (3 日間分)

総額 [A] + [B] + [C] = \_\_\_\_\_ 円

## ● 支払方法：

☐ 銀行振込 (下記振込銀行は ICPADS'96 の専用口座)

第一勧業銀行 虎ノ門支店 普通口座 1851428 名義人: 社団法人 情報処理学会 ICPADS'96 国際会議

送金年月日 \_\_\_\_\_ 銀行 \_\_\_\_\_ 支店から \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 送金名義人 \_\_\_\_\_

\* 送金日がわかる場合記入して下さい

☐ 当日払い

## ● 必要書類：

請求書 \_\_\_\_\_ 通, 納品書 \_\_\_\_\_ 通, 見積書 \_\_\_\_\_ 通, 領収書 \_\_\_\_\_ 通, 請求書記載名義人 \_\_\_\_\_

\* 必要な方はお申し出下さい。

住所 \_\_\_\_\_

所属 (和文) \_\_\_\_\_

(英文) \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ (英文) \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_ e-mail \_\_\_\_\_

会員番号 ☐ 情報処理学会 ( \_\_\_\_\_ ) ☐ IEEE ( \_\_\_\_\_ ) ☐ ACM ( \_\_\_\_\_ )

# 「ソフトウェア開発のためのドメイン分析・モデリング技術 シンポジウム」論文募集

ドメイン分析・モデリングは、アプリケーションやソフトウェア群を分析し、用語、問題の捉え方、ソフトウェアの構造、ソフトウェアの作り方などから成るドメインモデルを獲得し、それをソフトウェアの開発時に再利用しようとする技術です。得られたドメインモデルを、そのドメインに属するソフトウェアを繰り返して開発する際の実用集、ひな型モデル、標準モデル、ライブラリー、ハンドブック等として使い、ソフトウェア開発の生産性と再利用性を向上させることを目的とします。

実際の開発に適用する技術としていくつかの事例も報告され、ドメイン分析・モデリング技術の現状と今後の方向が見えてきました。この技術の更なる発展と普及のため、現状の全体像と今後の方向を示し、それらを共有し、研究開発者と実践者との技術の交流を図ることが重要です。下記の要領で、ドメイン分析・モデリング技術の現状と今後の方向についての情報交換を行うことを目的とするシンポジウムを開催します。多数の論文の投稿をお待ちします。

- 日 程 平成 8 年 9 月 12 日 (木) ・ 13 日 (金) (チュートリアルも開催予定)  
場 上智大学 四ッ谷キャンパス  
催 情報処理学会 ソフトウェア工学研究会

## 論文応募要項

- テ マ 下記を中心としたドメイン分析・モデリングに関連するテーマ全般
- a) ドメイン分析・モデリングの方法論
  - b) ドメイン分析・モデリングによるソフトウェア再利用プロセス
  - c) ドメイン分析・モデリングのソフトウェア開発方法論への波及
  - d) ドメイン分析・モデリングの実践
  - e) ドメイン分析・モデリングとオブジェクト指向
  - f) ドメイン分析・モデリング技術とプロジェクト管理
  - g) ドメイン分析・モデリングの支援環境
  - h) 他の分野の技術 (知識工学など) との統合

応募方法 (1) 論文は、研究論文・経験論文の 2 種類を募集します。A4 用紙 2 枚程度の Extended Abstract に通常研究会発表申込書を添えて、可能な限り e-mail にて送付のこと。

- (2) 応募先 〒211-88 川崎市中原区上小田中 4-1-1  
(株) 富士通研究所 ソフトウェア研究部 (研 63) 吉田裕之  
Tel.(044)754-2675 Fax.(044)754-2570 e-mail:yuki@flab.fujitsu.co.jp

- スケジュール (1) 論文応募締切 : 平成 8 年 5 月 13 日 (月)  
(2) 採否通知 : 平成 8 年 5 月 29 日 (水)  
(3) カメラレディ原稿締切: 平成 8 年 7 月 26 日 (金)  
(カメラレディは通常の研究報告の形式で 8 ページ以内です。)

会 先 伊藤 潔 (上智大) Tel.(03)3238-3496 Fax.(03)3238-3311 e-mail:itohkiyo@sophia.ac.jp

## 行・プログラム委員

伊藤 潔 (上智大), 吉田裕之 (富士通研), 廣田豊彦 (九工大), 田村恭久 (上智大), 青山幹雄 (新潟工科大), 安藤秀樹 (日本 IBM), 深海 悟 (NTT データ), 端山 毅 (NTT データ), 疋田敏哉 (NEC), 飯泉純子 (日立), 杵嶋修三 (山武ハネウエル), 熊谷 敏 (山武ハネウエル), 中山裕子 (富士通研), 大槻 繁 (日立), 清水洋子 (東芝), 田中伸佳 (NEC), 富井規雄 (JR 総研)

## 国際会議 ISAAC 論文募集

— First Call for Papers : ISAAC '96 —

Seventh Annual International Symposium on Algorithms and Computation  
Osaka, Japan, December 16–18, 1996

The symposium is intended to provide a forum for researchers working in algorithms and the theory of computation. Papers presenting original research in the areas of design and analysis of algorithms, computational complexity, and theory of computation are sought. Typical, but not exclusive, topics of interest include:

- Automata, languages, and computability
- Algorithms and Data Structures
- Parallel and Distributed Algorithms
- Automata and Formal Languages
- Computational Geometry
- Combinatorial Optimization
- Learning Theory
- Cryptography and Complexity Theory
- Probabilistic Algorithms
- Genome Science

Authors should send 15 copies (in English) of an extended abstract before **May 15, 1996**, to the Program Committee Co-Chair:

Satoru Miyano,  
Human Genome Center,  
Institute of Medical Science,  
University of Tokyo,  
4-6-1 Shirokanedai, Minato-ku,  
Tokyo 108 Japan  
(e-mail: miyano@ims.u-tokyo.ac.jp)

An abstract should start with the title of the paper, each author's name, affiliation, and e-mail address, and a one-paragraph summary of the results. The length of the extended abstract should not exceed ten (10) letter-sized pages (using 11 point or larger font, with ample margins all around). More details may be given in appendix but any material beyond the 10-page limit may be ignored at the discretion of the Program Committee.

Authors will be notified of acceptance or rejection by **July 30, 1996**. The proceedings are accepted in principle for publication in the Springer-Verlag Lecture Notes in Computer Science series.

### Symposium Chairs:

Tetsuo Asano, Yoshihide Igarashi

### Invited Speakers:

M. Atallah (Purdue U., USA),  
J. S. Turner (Washington U., USA)

### Program Committee:

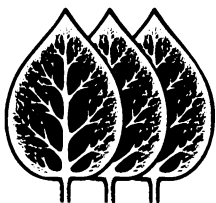
S. Miyano (Co-Chair; Japan)  
S. Suri (Co-Chair; USA)  
T. Akutsu (Japan)  
V. Chandru (India)  
D. Dobkin (USA)  
D.-Z. Du (USA)  
H. ElGindy (Australia)  
M. Golin (Hong Kong)  
T. Hirata (Japan)  
D. Kirkpatrick (Canada)  
A. K. Lenstra (USA)  
M. Ogihara (USA)  
W. Rytter (Poland)  
M. Sharir (Israel)  
A. Srinivasan (Singapore)

### This conference is supported by:

Osaka Electro-Communication University,  
Special Interest Group on Algorithms, Information Processing Society of Japan,  
Technical Group on Computation, IEICE of Japan

### Information

Takeshi Tokuyama  
Tokyo Research Lab., IBM Japan  
Shimotsuruma, Yamato, 242 JAPAN  
<http://www.media.osaka-cu.ac.jp/STAFF/isaac96>



## The Third International Symposium on Autonomous Decentralized Systems

April 9 - 11, 1997  
Berlin, Germany

# ISADS 97

Sponsored by



IEEE Computer Society



Information Processing  
Society of Japan



The Society of Instrument and  
Control Engineers of Japan

In Cooperation with



International Federation of  
Information Processing



International Federation of  
Automatic Control



Gesellschaft für Informatik

### General Chair

Radu Popescu-Zeletin, GMD-FOKUS/  
T.U. Berlin, Germany  
Fax: +49-30-25499-202  
Email: zeletin@fokus.gmd.de

### Program Committee

Chair: Jürgen Nehmer, U. Kaiserslautern,  
Germany  
Vice-Chair: Richard Soley, OMG, USA  
Vice-Chair: Yuji Inoue, NTT, Japan

Ricardo Baeza-Yates, U. de Chile, Chile  
Farokh B. Bastani, U. of Houston, USA  
Hendrik Berndt, TINA-C, USA  
Sujeet Chand, Rockwell Int. Corp., USA  
Jung W. Cho, KAIST, Korea  
Partha Dasgupta, Arizona State U., USA  
Domenico Ferrari, Systech, Italy  
Hiroyuki Fujita, Tokyo U., Japan  
Michel Gien, Chorus Systems, France  
Deb Guha, TINA-C, USA  
Chris Horn, IONA, Ireland  
V. Jagannathan, West Virginia U., USA  
Charles Jung, IBM, USA  
Tohru Kikuno, Osaka U., Japan  
Kane Kim, UC Irvine, USA  
Shinzo Kitamura, Kobe U., Japan  
Hermann Kopetz, T.U. Vienna, Austria  
Chi T. R. Lai, Int. Softw. Process Const., USA  
Guy Leduc, U. de Liège, Belgium  
Jeffrey N. Magee, Imperial College, UK  
Bernd Mahr, T.U. Berlin, Germany  
Manuel J. Mendes, PUECAMP, Brasil  
Kinji Mori, Hitachi, Japan  
Max Mühlhäuser, U. of Linz, Austria  
C. V. Ramamoorthy, UC Berkeley, USA  
Gerd Schürmann, GMD-FOKUS, Germany  
Norio Shiratori, Tohoku U., Japan  
Ralf Steinmetz, IBM-ENC, Germany  
Liba Svobodova, IBM Research, Switzerland  
Makoto Takizawa, Tokyo Denki U., Japan  
Ahmed Tantawy, IBM Research, USA  
Volker Tschammer, GMD-FOKUS, Germany  
Paulo Varissimo, F.C.U.L., Portugal  
Feng-Jian Wang, Nat. Chiao-Tung U., Taiwan  
Roberto Zicari, LogOn, Germany

### Operations Committee

Barbara Intelmann, GMD-FOKUS, Germany  
Katsumi Kawano, Hitachi, Japan  
Eckhard Moeller, GMD-FOKUS, Germany  
Eric Mordoh, IKV, Germany  
Volker Tschammer, GMD-FOKUS, Germany

### Advisory Committee

Jürgen Kanzow, DeTeBerkom, Germany  
Nobuhiko Koike, NEC, Germany

### Steering Committee

Chair: Stephen S. Yau, Arizona State U.,  
USA (IEEE)  
Yoshikazu Nishikawa, Kyoto U., Japan (SICE)  
Masanori Ozeki, RTRI, Japan (IPSI)

### Scope

Driven by the increasing power, intelligence, reliability, and openness of computer, communication and control technologies, a new generation of distributed systems is emerging, that will be able to support distributed business and control applications with extreme efficiency, reliability and security requirements. Such systems are expected to consist of largely autonomous, decentralized and geographically dispersed components interacting via communication networks, and are thus called Autonomous Decentralized Systems (ADS).

After the successful first and second International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS) held in 1993 in Japan and in 1995 in the USA, the third ISADS will be held in Berlin, Germany, on April 9 - 11, 1997. ISADS 97 will primarily focus on advancements and innovations in ADS platforms and applications. Integration of telecommunication and computing aspects into a uniform concept for providing an open distributed processing environment is a key factor.

ISADS invites papers and panel proposals on the topic of the symposium that will foster interactions among researchers and practitioners in computer, (tele)communication, management, control and other related fields from academia, industry and government. The scope of ADS encompasses but is not limited to:

- Telecommunication information networking architecture / Intelligent networks / Internet;
- Distributed system development and maintenance;
- Distributed control and its supporting platforms;
- Object management architecture / Design patterns / Application frameworks;
- Platform and application interoperability;
- Reference models for ADS;
- Computer-supported cooperative work / Virtual enterprise;
- Legacy system integration;
- Novel applications of ADS: manufacturing systems, realtime environments, office automation, traffic and transportation control, electronic commerce, etc.

### Information for Authors

Send 6 copies of an original (not submitted or published elsewhere) full paper (12 point, double-spaced) with 3000 - 6000 words - in paper form only - to the address given below.

Papers should include: title, authors, affiliations, 150-word abstract and list of keywords.

Identify the author responsible for correspondence, including the author's name, position, mailing address, telephone and fax numbers, and email address.

One of the authors of each accepted paper must present the paper at ISADS 97.

### Information for Panel Organizers

Send 6 copies of panel proposals - in paper form only - to the address given below.

Panel proposals should include: title, organizer's affiliations, position, mailing address, telephone and fax numbers, email address, and 150-word scope statement, proposed chair and panelists.

### Submission Address

Jürgen Nehmer, ISADS 97 Program Chair, Universität Kaiserslautern, Fachbereich Informatik, Postfach 3049,  
D-67653 Kaiserslautern, Germany;  
Email: nehmer@informatik.uni-kl.de; Phone: +49-631-205-4020; Fax: +49-631-205-3558.

### General Information

For program information contact the Program Chair above.

For additional information see World-Wide Web: <http://www.fokus.gmd.de/ws/isads97/>, or

**send your notification of interest** (including name, affiliation, postal and email address and, if possible, the provisional title of your paper) to **ISADS 97, GMD-FOKUS, Hardenbergplatz 2, D-10623 Berlin, Germany; Email: isads97@fokus.gmd.de; Phone: +49-30-25499-234/200; Fax: +49-30-25499-202.**

The proceedings of the symposium will be published by IEEE Computer Society Press.

### Important Deadlines

- July 15, 1996: All paper and panel proposals due.
- October 1, 1996: Panel proposals and authors notified of acceptance.
- December 2, 1996: Camera-ready copies of accepted papers and panelists' position papers due.

Supported by

Hitachi

DeTeBerkom

NEC

Digital

GMD-FOKUS

Hewlett Packard

IBM

## 第37回プログラミング・シンポジウムの報告

### 1. シンポジウム概要

情報処理学会/プログラミング・シンポジウム委員会の主催により、第37回プログラミング・シンポジウムが1996年1月9日（火）から11日（木）の3日間、例年通り箱根ホテル小涌園にて開催された。

このシンポジウムは、将来を展望したプログラミング技術に関する討論を目的として、多岐にわたる分野でコンピュータ技術に関わる人々に対して提供されている場である。今回は前回よりやや増えて、161名の方が参加された。

一般講演22件、特別講演1件、ポスター発表4件の発表の他、昨年の夏のシンポジウム「モバイル&ユービキタスコンピューティング」と「情報科学若手の会」からの報告、各種表彰などが行われた。発表者や表題については、本誌95年11月号に掲載されているので、そちらをご覧ください。

招待講演は総合研究大学院大学の及川昭文教授による「コンピュータ蟻地獄からの大脱走」と題する講演であった。コンピュータやプログラミングを娯楽の一種ともいえる感性で捉えている我々の多くと異なり、研究を進めるための道具として位置付けているコンピュータユーザーの立場からの様々な意見を拝聴することができた。

それに続く大駒誠一氏の講演は、昔の計算機をソフトウェアで復刻する活動の報告であった。三十数年前に現物を使用したプログラムの記憶部から整列プログラムをダンプして走らせたら動いたとか！関係者が御存命中にできるだけのことをしようという気運が、本年の夏のプロシンに継った（後述）。

今回は、発表希望の応募件数が多かったため、一コマを例年の40分から35分に縮めて、発表件数を増やしたが、そのしわ寄せが、本シンポジウムの特徴である活発な質疑応答・討議の時間に来てしまい、議論が盛り上がっている時に時間切れになってしまう場合が多くあった。報告者の個人的感想では、このことが今回のシンポジウムの最大の反省点であったと思う。

### 2. 表彰

#### 2.1 山内賞

前回のプログラミング・シンポジウムにおける優秀な発表を表彰する山内奨励賞が、山内記念会から下記の方々に授与され、表彰状と副賞が贈られた。

##### ●山内奨励賞（創意の部）

伊藤 昭，矢野 博之（郵政省通信総合研究所）

「冷たい心でも強調は可能か -- 自律エージェントの協調発現の論理 --」

##### ●山内奨励賞（表現の部）

尾内 理紀夫，高田 敏弘，鷲坂 光一（NTT 基礎研究所）

「意味コンピューティングに向けて」

なお、過去のシンポジウム発表から選出して表彰していた山内業績賞は、暫く授与を見合わせると報告された。

#### 2.2 質問賞

今回は新しい試みとして、2社から寄贈された本（アスキー出版8冊と共立出版1冊）を、優秀な「質問者」9名（幹事団で選考）に贈呈した。

### 3. 夜の討論会

夜の自由討論の話題は会場で募る。今回は、初日が「セキュリティ」と「教育」及び定番の「GPCC」、2日目は「セキュリティ」と「キーボード」と「ソフトウェアの輸出」が選ばれた。Internetの拡大状況と呼応してセキュリティに対する関心は高く、二夜連続となった（夏のプロシンのテーマにも決まった、後述）。キーボードに対する関心は相変わらず高い。和田英一氏の特製コンパクトキーボードが回覧された。自分好みのキーボードを持ち歩こうというわけであるが、キーボードと本体とのインタフェースには、標準がない。以前と比べれば、繋ぎたい対象マシンが限られて来たのが救いか。ソフトウェアの輸出は、（幹事の下手際もあり）集まりが悪く、不成立であった。日本の現状を反映しているとしたら、悲しいことである。公式には夜9時までとなっているが、（例年通り）両日とも深夜まで話題は尽きなかった。

### 4. 来年度

次回（第38回）の本シンポジウムは、1997年1月8日から10日まで開催される予定である。例年の火曜日～木曜日

は異なり、水曜日～金曜日であることにご注意ください。情報科学若手の会は、近年若干低調なため、開催を積極的に進めることはしないという方針が拡大運営委員会で打ち出されたが、一部の若手からは是非開催したいという声が出ているので、今年は開催されることになりそうである。本年の夏のプログラミング・シンポジウムは、「コンピューティングの歴史」と「電子取引とセキュリティ」の2つのテーマで（別々に）開催されることになった。夏・冬のプログラミング・シンポジウム（及び若手の会）の詳細については、決まり次第、本誌等でお知らせ致します。

## ・謝辞

本シンポジウムの開催に当たり、以下の12社（順不同）から、特別参加費を賜りました。ここにお礼申し上げます。日本ユニシス（株）、（株）ジャステック、（株）日立製作所、富士通（株）、日本アイ・ビー・エム（株）、日本電気（株）、沖電気工業（株）、松下電送（株）、サイバース（株）、日本サン・マイクロシステムズ（株）、松下電器産業（株）、（株）東芝。

## ・最後に

本年4月から、松方純（学術情報センター）に代わり、鈴木悦子（津田塾大学）が幹事団に入ります。なお、昨年の夏のプログラミング・シンポジウム「モバイル&ユービキタスコンピューティング」の報告集、及び、第37回プログラミング・シンポジウムの予稿集には、まだ多少の残部があります。購入希望者はお早めに本学会事業部までお申し込み下さい。（各5,000円（消費税・送料込））

（松下電送（株）技術研究所/プログラミング・シンポジウム広報担当幹事 白濱律雄）

## 国際会議] (続き)

### ▶アジア太平洋ソフトウェア工学国際会議 (APSEC) '96\*\*

1. 1996年12月4日（水）～7日（土） 2. 韓国ソウル市 3. 磯田定宏（豊橋技術科学大学） Tel.(0532)47-0111(ext.874), isoda@tutkie.tut.ac.jp

## 国内会議]

### ▶電子情報通信学会「第7回データ工学ワークショップ (DEWS '96)」[ネットワーク時代のデータベース技術] (小特集テーマ)

1. 平成8年3月15日（金）～16日（土） 2. 会場 神戸フルーツ・フラワーパーク（神戸市） 3. 照会先 佐藤哲司（NTT） Tel.(0468)59-3664 e-mail:satoh@isl.ntt.jp

### ▶第32回人工知能セミナー「事例ベースが開く新しいAIの世界」

1. 平成8年4月9日（火） 2. 機械振興会館（東京都港区） 3. 人工知能学会 Tel.(03)5261-3401

### ▶第222回講習会「インターネットー製造業でいかに活用するか?」

1. 平成8年4月12日（金） 2. 中大駿河台記念館（東京都千代田区） 3. 精密工学会 Tel.(03)3362-1979

### ▶Advanced Imaging'96「インターネットとマルチメディア」

1. 平成8年4月19日（金） 2. 松下電器情報通信システム研究所（東京都品川区） 3. 画像電子学会 Tel.(03)5403-7571

### ▶OR学会第35回シンポジウム「マルチメディアとその活用」

1. 平成8年5月14日（火） 2. 小樽商大（小樽市） 3. 日本オペレーションズ・リサーチ学会 Tel.(03)3815-3351

### ワークショップ「HI プロフェッショナル」

1. 平成8年5月24日（金）～25日（土） 2. 湘南国際村（神奈川県葉山町） 3. 中内 靖（防衛大） Tel.(0468)41-3810(ext.2536) e-mail:nakauchi@cc.nda.ac.jp,http://133.99.9.1:3535/

### ▶生産スケジューリングシンポジウム'96

1. 平成8年10月3日（木） 2. 名古屋工大（名古屋市） 3. 大野勝久（名古屋大） Tel.(052)735-5390 e-mail:ohno@system.nitech.ac.jp

### ▶第28回「ストカスティック システム シンポジウム」

1. 平成8年11月14日（木）～16日（土） 2. 立命館大末川記念館（京都市） 3. 事務局 福田得夫（追手門学院大） Tel.(0726)43-5421(ext.5724) e-mail:fukuda@otemongakuin-u.ac.jp

情報処理学会「書籍」申込書  
(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

| 申込者      |        |          |          |         |         |
|----------|--------|----------|----------|---------|---------|
| A：会員/非会員 | (1) 会員 | (2) 学生会員 | (3) 賛助会員 | (4) 購読員 | (5) 非会員 |
| B：会員No.  |        |          | C：ご氏名    |         |         |
| D：勤務先    |        |          | E：ご所属    |         |         |
| F：ご住所    | 〒      |          |          |         |         |
| G：TEL    |        |          | H：FAX    |         |         |
| I：e-mail |        |          |          |         |         |

| 送本先，照会先などが異なる場合は下記に記入のこと |
|--------------------------|
| J：照会先／送本先                |

| 「書籍」リスト  |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| 書籍名／コード名 | 希望部数（冊）  | 単価（円）    | 金額（円）    |
| K-1-(a)： | K-1-(b)： | K-1-(c)： | K-1-(d)： |
| K-2-(a)： | K-2-(b)： | K-2-(c)： | K-2-(d)： |
| K-3-(a)： | K-3-(b)： | K-3-(c)： | K-3-(d)： |
| K-4-(a)： | K-4-(b)： | K-4-(c)： | K-4-(d)： |
| K-5-(a)： | K-5-(b)： | K-5-(c)： | K-5-(d)： |
| 合 計      | L-1：     | L-2：     | L-3：     |

|              |                                          |         |   |         |   |
|--------------|------------------------------------------|---------|---|---------|---|
| M：支払方法       | (1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 ( 月 日に送金予定) * |         |   |         |   |
|              | (2) 三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 ( 月 日に送金予定) *  |         |   |         |   |
|              | (3) 郵便振替 (00150-4-83484) ( 月 日に送金予定) *   |         |   |         |   |
|              | (4) 現金持参                                 |         |   |         |   |
|              | (5) 現金書留                                 |         |   |         |   |
|              | [名義人はいずれも(社)情報処理学会] *: 送金日が分かる場合、記入のこと   |         |   |         |   |
| N：送金名義人      |                                          |         |   |         |   |
| O-1：請求書      | 通                                        | O-2：見積書 | 通 | O-3：納品書 | 通 |
| P：請求書記載名義    |                                          |         |   |         |   |
| Q：送金に関する問合せ先 |                                          |         |   |         |   |

|                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 申込先                                                                                                                                                                                                                                        | (社)情報処理学会 図書係<br>〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F<br>Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail:tosho@ipsj.or.jp |
| *e-mailでの申込み：各項目はカンマ（,）で区切り，(1) ... (5) は選択，その他は文字を記入のこと。<br>[例] A: (1) , B: 9999999, C:情報太郎, . . . K-1-(a):情報処理Vol.36 No.1, K-1-(b):1, K-1-(c):1600, K-1-(d):1600,<br>M: (1) (1月30日送金予定) , N:情報太郎, O-1:1, O-2:1, O-3:1, P: (株)××電気, . . . |                                                                                                              |

## WWW (World-Wide-Web) の情報サービスについて

WWW で情報を提供しています。研究会・全国大会の内容が充実してきました。まだ、工事中の部分はありますが、どうぞご利用ください。 URL — <http://www.ipsj.or.jp>



社団法人  
情報処理学会

Information Processing Society of  
Japan

- 情報処理学会について 一概要、本部・支部連絡先
  - 会長の挨拶
  - 学会の紹介 一活動内容
  - 入会の案内 一入会方法、手続き
- 最新ニュース
  - 情報処理学会倫理綱領 (案)
- IPSJカレンダー
- 学会の出版物について
  - 学会誌
  - 論文誌
  - 情報処理学会の出版物 一情報処理ハンドブック他
- 連続セミナーの案内
- 研究会の案内 一シンポジウム、チュートリアルのご案内含む
- 全国大会の案内 一講演発表募集要項、ニュース等
- 国際会議の案内
- 支部の案内
- 規格からの案内 一工事中(情報規格調査会へリンク)
- 事務局便り 一工事中
- 関連機関の WWW サーバ

- 
- 学会活動内部情報、非公開情報 一工事中
    - ここは、特定のメンバーのみアクセスできます。
- 

*Comments are welcome. Mail to address [sys@ipsj.or.jp](mailto:sys@ipsj.or.jp), please.*  
*Last-Modified: 26/FEB/1996*

## 会員の皆様へのお知らせ・お願い

### 〔口座自動振替登録者の方へ〕

会費および購読費を3月27日（水）に振替させていただきます。

預金残高をご確認いただき、振替額不足にならないようご注意ください。振替された場合には、通帳へ以下のように記帳されます。

- (1) 銀行口座登録の方：「ダイヤモンドファクター」「コウザフリカエ」「DF・ジョウショカイヒ」
- (2) 郵便局口座登録の方：「会費 ジョウショガツカイ」

### 〔新入会勧誘のお願い〕

情報処理に関心をお持ちの方、情報処理関連の学術研究あるいは事業に携わっている方で、お近くに入会希望の方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

入会に関する詳しいご案内については、当月号巻末の「入会のおすすめ」をご参照ください。

### 〔機関誌等の送付先変更について〕

2月から5月にかけては、就職・進学・転勤・引越し等会員の異動があるため、機関誌等の返戻が多数発生いたします。送付先住所等に変更が生じた場合には、早急に「変更連絡届」（学会誌偶数月号巻末添付）等書面にて下記宛にご連絡ください（FAX, e-mail 可）。毎月20日締切で、翌月号からの変更となります。なお、停止期間中のバックナンバーは残部のある限り発送いたします。あらかじめご了承ください。

また、住所不明等の理由から連絡がとれず会費が滞納となり、除名に至る場合もありますので、機関誌が届かない時には下記までお問い合わせください。

### 〔会費および購読費の銀行送金について〕

振込人氏名には必ず会員 No.・氏名を明記してください。個人名で振り込めない場合、数名分まとめて振り込む場合、行事参加費や書籍代等の費用とまとめて振り込む場合には、別途送金詳細を下記までお知らせ願います。

### 〔退会について〕

退会を希望される方は、退会届（会員番号・氏名・退会年月・退会希望の旨とその理由を明記したもの）を書面等にて下記宛にご連絡ください（FAX, e-mail 可）。なお、会費および論文誌購読費未納の方には別途退会精算の振込用紙を送付いたしますので、送付先住所等に変更がある場合には併記してください。

連絡／照会先 社団法人 情報処理学会 会員係  
〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F  
Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail:mem@ipsj.or.jp

## 平成8年度研究会登録について

平成8年度は、新設（2研究会）を含む26研究会により、研究発表会（計128回）、シンポジウム（計21件）、小規模国際会議（1件）等が予定され、領域制のもとますます活発に研究活動がすすめられています。

年間を通して研究会にご参加の場合には、ぜひ登録をお勧めします。登録者には該当研究報告の無料配布のほか、研究会主催行事等での割引などもあります。会員の皆様のより多くのご登録、ご参加をお待ちしております。

平成8年度から新規に研究会登録を希望される方は前号（Vol.37 No.2 IPSJ KAIKOKU P.27）添付の平成8年度研究会登録申込書（個人新規専用）に必要事項をご記入の上、研究会係宛お送りください。（Fax.可）

## 会費・購読費の預金口座自動振替のご利用について

ご希望の方は、下記記載事項をご参照のうえ、お申し込みください。

なお、新入会時の入会金・会費・購読費にはご利用できませんが、翌年度会費・購読費から取扱いますので、入会手続きの際に同時にお申し込みください。

### 記

1. 対象会員：個人会員（一括扱い会員は除く）
2. 対象金融機関：都市銀行，地方銀行，信託銀行，長期信用銀行，信用金庫，労働金庫  
\*（信用組合，郵便局，農協は除きます）
3. 口座振替費目：会員費・論文誌購読費
4. 申込方法：「預金口座振替依頼書」にご記入のうえ事務局会員係まで郵送してください。
5. 振替日：3月または7月の27日（休日の場合は翌営業日）に年額を振替えさせていただきます。
6. 依頼書の記入要領
  - (1) 口座名義人：預金通帳の名義人です。（フリガナもご記入ください。）
  - (2) 銀行への：預金通帳とご照合のうえ，鮮明にご捺印ください。また，捺印を必ずご捺印ください。  
お届け印
  - (3) 会員番号：会員番号（学会誌等送付用封筒の宛名ラベルに記載）および会員氏名をご記入ください。  
会員氏名
  - (4) 指定口座：金融機関名，支店名，店番号，種目（普通／当座），口座番号等は，必ず預金通帳にてご確認のうえ  
ご記入ください。
7. 預金通帳の摘要欄：「ダイヤモンドファクター」「コウザフリカエ」または「DF・ジョウショカイヒ」と印字されます。
8. 申込み／照会先：社団法人 情報処理学会 会員係  
〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F  
Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534  
e-mail:mem@ipsj.or.jp

預金口座振替依頼書

銀行 御中  
金庫

平成 年 月 日

収納代行会社名：ダイヤモンドファクター株式会社

委託者名：社団法人 情報処理学会

料金等の種類：会費・購読費

委託者  
番号

03450

契約者  
番号

015

ご指定口座（記入要領によりご記入ください）

|                                                         |       |      |  |                |  |      |  |  |  |  |  |   |          |
|---------------------------------------------------------|-------|------|--|----------------|--|------|--|--|--|--|--|---|----------|
| (左つめで記入し、濁点、半濁点は1字分に扱ってください。なお、個人名義の場合、姓と名の間は1字空けてください) |       |      |  |                |  |      |  |  |  |  |  |   |          |
| フリガナ                                                    |       |      |  |                |  |      |  |  |  |  |  | 印 | 銀行へのお届け印 |
| 口座名義人                                                   |       |      |  |                |  |      |  |  |  |  |  |   |          |
| 会員番号                                                    |       | 会員氏名 |  |                |  |      |  |  |  |  |  |   |          |
|                                                         |       |      |  |                |  |      |  |  |  |  |  |   |          |
| 指定<br>口座                                                | 銀行 金庫 |      |  |                |  |      |  |  |  |  |  |   | 本店<br>支店 |
|                                                         | 銀行    | 店番号  |  | 預金種目           |  | 口座番号 |  |  |  |  |  |   |          |
|                                                         |       |      |  | 1. 普通<br>2. 当座 |  |      |  |  |  |  |  |   |          |

振替日：収納企業の指定する日（銀行休業日の場合は翌営業日）

私は上記の料金等を預金口座振替の方法により収納代行会社ダイヤモンドファクター株式会社を通じて支払うこととしましたので、下記事項を承認のうえ上記口座からの振替を依頼します。

記

- ダイヤモンドファクター（株）より貴行（金庫・組合）に請求書が送付されたときは、振替日に私あてに通知することなく、請求書記載金額を預金口座から引落しのうえお支払いください。この場合、預金規定または当座勘定規定にかかわらず、預金通帳・同払戻請求書の提出または小切手の提出はしません。
- 振替日において、請求書記載金額が預金口座から払い戻すことのできる金額をこえるときは、私に通知することなく請求書を返却されても差し支えありません。
- この預金口座振替契約は貴行（金庫・組合）が必要と認めた場合は私に通知することなく解約されても異議ありません。
- この預金口座振替についてかりに疑義が生じて、貴行（金庫・組合）の責によるものを除き、貴行（金庫・組合）にはご迷惑をかけません。

金融機関使用欄

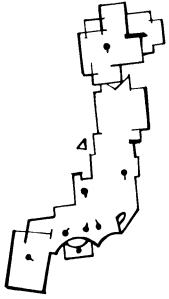
口座振替依頼書に不備がございましたら下記へご返却ください。

|                  |                                        |        |
|------------------|----------------------------------------|--------|
| 返<br>却<br>理<br>由 | 1. 預金取引なし                              | 4. その他 |
|                  | 2. 記載事項等相違<br>(店名, 預金種目<br>口座番号, 口座名義) |        |
|                  | 3. 印鑑相違                                |        |

|     |     |  |
|-----|-----|--|
| 照 合 | 受 付 |  |
|     |     |  |

〒101 東京都千代田区神田佐久間町 1-10  
ダイヤモンドファクター株式会社 ワイドネット事業本部

## 支部だより



## 情報処理学会支部連絡先

北海道支部 〒060 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学工学部情報工学科内  
Tel.(011)706-6819 Fax.(011)706-6819 e-mail:saito@huie.hokudai.ac.jp

東北支部 〒980 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 東北大学大学院情報科学研究科内  
Tel.(022)263-9437 Fax.(028)263-9437 e-mail:nakao@eccei.tohoku.ac.jp

東海支部 〒460 愛知県名古屋市中区錦2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内  
Tel.(052)204-4517 Fax.(052)204-4521

北陸支部 〒930 富山県富山市五福3190 富山大学工学部電子情報工学科内  
Tel.(0764)41-1271(ext.2707) Fax.(0764)41-8432 e-mail:hirose@ecs.toyama-u.ac.jp

関西支部 〒530 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8F (財)関西情報センター気付  
Tel.(06)346-2543 Fax.(06)346-2443 e-mail:infor-soci@kiiis.or.jp

中国支部 〒739 広島県東広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部第2類(電気系)内  
Tel.(0824)24-7663 Fax.(0824)22-7195 e-mail:nakamura@eml.hiroshima-u.ac.jp

四国支部 〒770 徳島県徳島市南常三島町2-1 徳島大学工学部知能情報工学科内  
Tel.(0886)56-7496 Fax.(0886)23-2761 e-mail:kita@is.tokushima-u.ac.jp

九州支部 〒812 福岡県福岡市博多区博多駅前1-17-21 NTT DATA 博多駅前ビル  
NTT データ通信(株)九州支社総務担当内  
Tel.(092)475-5123 Fax.(092)475-5185 e-mail:rin@is.kyushu-u.ac.jp

## 平成8年度支部総会のご案内

各支部の通常総会が下記のとおり開催されますので、ぜひご出席ください。なお、各支部総会の案内状は、支部内の正会員各位に別途郵送されますが、ご欠席の場合には必ず委任状をご返送ください。

| 支 部 | 日 時                  | 会 場 / 講 演 会 等                                                                                                                                   |
|-----|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北海道 | 4月19日(金) 時間未定        | 北海道大学学術交流会館(札幌市北区北8条西5丁目)<br>情報処理北海道シンポジウム *96 4月18～19日(9:00～17:00)<br>・特別講演 [18日 13:00～14:30] 「メディアと工学」 青木由直氏(北大)<br>・一般講演 [18～19日 9:00～17:00] |
| 東北  | 4月24日(水) 12:00～      | 東北大学工学部 青葉会館<br>・講演 [14:40～16:10] 〃 電気・情報館 101 大講義室<br>「ヒューマンコミュニケーションの本質を探索」 東倉洋一氏(ATR 人間情報通信研究所社長)                                            |
| 東海  | 5月10日(金) 14:00～14:30 | 愛知厚生年金会館(名古屋市千種区池下町2-63)<br>・講演 [15:00～16:30] 「演題未定」 三宅康二氏(三重大学教授)                                                                              |

北陸、関西、中国、四国、九州の各支部は4月号に掲載します。

## 東海支部 平成7年度東海支部奨励賞の表彰

平成7年度東海支部奨励賞は、電気関係学会東海支部連合大会における一般論文発表者836名(選考対象者447名)の中で、平成8年1月19日(金)に「奨励賞・電気学会優秀論文発表賞B」として表彰された36名のうち、情報処理学会所属の下記論文発表者2名に授与されました。(受賞者の所属は発表当時のもの)

論文発表 平成7年度東海支部大会(電気関係学会東海支部連合大会) 平成7年9月20～21日 名城大学  
(奨励賞) ・知的電子化英和辞書一名詞における曖昧性解消  
植栢陽一郎君(名城大学理工学部電気電子工学科, 昭和48年9月21日生)  
(電気学会B賞) ・レーダデータを用いたニューラルネットワークによる1時間先地上雨量分布予測  
水野勝教君(愛知工業大学計算センター, 昭和40年8月11日生)

## 人材募集



### ●山形大学工学部電子情報工学科

募集人員 教授 1 名, 助教授 2 名  
専門分野 情報メディア (マルチメディア, 情報通信ソフトウェア, 情報メディア論)  
応募資格 共に博士の学位を有し, 専門分野に研究業績があり, 教育・研究に熱心で, 大学院の研究指導ができる方  
着任時期 平成 8 年 10 月 1 日以降のなるべく早い時期  
提出書類 履歴書, 研究業績書 (原著論文, 速報, 国際会議発表論文, 著書, 解説, 特許等に分けること), 研究活動概要 (代表的論文 5 編以内の概要と学会での評価), 学会での活動状況の概要, 希望調書 (希望するポスト, 希望着任時期, 1000 字程度の研究・教育に対する抱負), 本人に関する所見を求めうる 2 名の方の氏名と連絡先  
応募締切 平成 8 年 4 月 20 日  
送付先/照会先 〒 992 山形県米沢市城南 4-3-16 山形大学工学部電子情報工学科 教授 丹野州宣  
Tel.(0238)26-3337 Fax.(0238)26-2082 e-mail:tanno@eie.yz.yamagata-u.ac.jp  
その他 照会はなるべく e-mail でお願いします。

### ●上智大学理工学部電気・電子工学科

募集人員 講師または助教授 1 名  
専門分野 通信工学  
応募資格 工学博士の学位を有し, 年齢 40 歳未満であることが望ましい  
着任時期 平成 9 年 4 月 1 日  
提出書類 履歴書, 健康診断書, 業績リスト (著者名, 論文題名, 雑誌名, 巻数, 年, ページを記載), 主要論文別刷 5 編以内 (各 2 部づつ), 推薦書 (指導教員またはこれに準ずる方), 当方から応募者の人物・能力についてご意見を求めることができる方 2 名の所属・職・氏名・連絡先  
応募締切 平成 8 年 4 月 30 日  
送付先/照会先 〒 102 東京都千代田区紀尾井町 7-1 上智大学理工学部電気・電子工学科  
Tel.(03)3238-3320 「教員応募書類」と朱書き書留

### ●平成 8 年度新技術事業団「さきがけ研究 21」

新技術事業団は, 研究者個人の独創性を活かした基礎的研究を推進するため, さきがけ研究 21 の研究者を募集します。

募集人員 「遺伝と変化」, 「知と構成」, 「場と反応」3 研究領域合計で 30 名 (予定)  
応募資格 上の研究領域のいずれかに含まれる基礎的な, かつ, 個人レベルで行える研究課題をお持ちの日本人, または日本語での面接に対応できる程度の語学力を備えた在日外国人研究者  
条件 平成 8 年度 10 月から 3 年間, 新技術事業団に所属 (出向, 兼任も可) する。実質研究費は研究内容により異なるが, 3 年間で 3,000 万 ~ 4,000 万円程度。研究実施場所は, 原則として事業団が用意する。  
応募締切 平成 8 年 4 月 30 日  
照会先 新技術事業団 個人研究推進室 Tel.(048)226-5610 Fax.(048)226-5653

## 九州工業大学情報工学部制御システム工学科

- 募集人員 助教授 1 名
- 専門分野 制御工学・情報工学の実システムへの応用（ロボティクス、情報システムなど）
- 担当科目 学部では制御基礎および情報科目のうちそれぞれ 1 科目。大学院では応用制御システム特論。
- 募集資格 博士の学位を有し、大学院博士後期課程を担当でき、制御分野のみならず情報系の分野にも通じ、両分野の融合を指向した教育・研究指導ができる方
- 任時期 平成 8 年 10 月 1 日以降のなるべく早い時期
- 出書類 履歴書、研究業績目録（著書、学術雑誌論文、国際会議論文等に分類）、主要論文（5 編程度）の別刷各 1 部（コピー可）とその要約（各 400 字程度）、これまでの研究概要と採用後の研究計画（各 800 字程度）、教育についての抱負（800 字程度）
- 募集締切 平成 8 年 5 月 13 日
- 付先／照会先 〒 820 福岡県飯塚市大字川津 680-4 九州工業大学情報工学部制御システム工学科 教授 石川眞澄  
Tel.(0948)29-7718 e-mail:ishikawa@ces.kyutech.ac.jp 「教官応募書類」と朱書き書留

## 鹿児島大学教養部情報科学科

- 募集人員 助教授または講師 1 名
- 専門分野 情報科学（関連分野を含む）
- 募集資格 修士の学位を有する方またはこれに準ずる業績を有する方、着任時 40 歳以下の方
- 任時期 平成 8 年 10 月 1 日
- 出書類 履歴書、健康診断書、研究業績目録、研究業績に関する資料のうち主なもの 5 点以内。それぞれに分かりやすい解説をつける。「情報科学」教育についての考え（2000 字程度）
- 募集締切 平成 8 年 5 月 17 日（必着）
- 付先／照会先 〒 890 鹿児島県鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学教養部長 森本雅樹  
Tel.(099)285-8800（部長室）、Tel.(099)285-8960（研究室） Fax.(099)285-8808  
「情報科学教官応募書類」と朱書き書留

## 東京電機大学工学部電子工学科

- 募集人員 助教授または講師、助手 各 1 名
- 専門分野 (1) デジタル・システム（デジタル VLSI）  
(2) コンピュータ・グラフィックス、バーチャル・リアリティ等の関連分野
- 募集資格 博士の学位を有し（見込みを含む）、年齢 32 歳程度および 27 歳程度の方
- 任時期 採用決定後なるべく早い時期
- 出書類 履歴書、研究業績一覧表、主要論文別刷、所属長の推薦書
- 募集締切 平成 8 年 5 月 31 日（締切日以前でも適任者の応募がありましたら、選考を開始することがあります）
- 会 先 東京電機大学工学部電子工学科 大井 尚一 Tel.(03)5280-3345  
〒 101 東京都千代田区神田錦町 2-2

## ●茨城大学工学部システム工学科

募集人員 助教授 1 名  
専門分野 計算機応用学講座  
担当科目 コンピュータネットワーク, 人工知能応用, その他計算機応用学分野  
応募資格 博士号を有し研究業績のある方で, 大学院生の指導ができる方, 年齢 50 歳未満  
着任時期 平成 8 年 10 月 1 日が望ましい  
提出書類 履歴書, 研究業績一覧, 主要論文別刷  
応募締切 平成 8 年 5 月 31 日  
送付先/照会先 〒316 茨城県日立市中成沢町 4-12-1 茨城大学工学部システム工学科 堤 泰行  
Tel.(0294)38-5254 (直通) Fax.(0294)37-1569

## ●立命館大学理工学部

募集人員 以下の各分野について教授または助教授 1 名  
専門分野 (1) 分散処理, 計算機ネットワーク, または並列処理のうちいずれかの分野  
(2) 情報システム, またはソフトウェア工学のうちいずれかの分野  
(3) ユーザインタフェース, マルチメディア, または人工知能のうちいずれかの分野  
応募資格 博士の学位を有し上記専門分野の研究業績があり, 専門分野関連科目の他に情報処理演習, 情報学実験などが担当できる方, 原則として着任時 45 歳以下の方  
着任時期 平成 9 年 4 月 1 日予定  
提出書類 履歴書 (教育歴 (担当科目等) が分かるように書くこと), 研究業績リスト (論文, 著書), 主要論文別刷, 現在までの研究内容の解説と今後の研究計画の概要および教育に対する抱負 (2000 字程度)  
\*健康診断書は不要だが, 採用決定までに立命館大学保健センターの健康診断を受けていただく  
応募締切 平成 8 年 5 月 31 日 (必着)  
送付先 〒525-77 滋賀県草津市野路町 1916 立命館大学理工学部情報系 学系長 八村広三郎 書留で送付  
照会先 理工学部情報学科 教授 小川 均 Tel.(0775)61-2697 (直通) e-mail:ogawa@cs.ritsume.ac.jp

## ●平成 9 年度基礎科学特別研究員

募集人員 70 名程度  
専門分野 物理学, 化学, 生物科学, 医科学, 工学の各分野で, 理化学研究所で実施可能な研究  
応募資格 平成 9 年 4 月 1 日現在 35 歳未満の健康な方で, 博士号取得者またはこれと同等の研究能力を有すると認められる方, 日本に永住権を有さない外国人にあつては, 上記に加え, 応募日現在で日本国に在住し日本国の大学院博士課程を修了 (見込みを含む) し, 博士号を取得 (見込みを含む) している方  
着任時期 平成 9 年 4 月 1 日  
契約期間 連続して最長 3 年間を限度とし, 毎年度所要の評価により契約更新  
応募締切 平成 8 年 6 月 5 日 (必着) なお, 応募する方は平成 8 年 5 月 22 日までに下記に問い合わせること  
送付先/照会先 〒351-01 埼玉県和光市広沢 2 番 1 号 理化学研究所研究業務部・基礎科学特別研究員制度推進室  
Tel.(048)467-9268 (直通) Fax.(048)463-3687 e-mail:wakate@postman.riken.go.jp  
その他 本件は政府予算の成立を前提としており, その事情により変更がありえますので, その旨ご承知おきください

## ご意見をお寄せください！

(お読みになったものだけで結構です)

- あなたはモニターですか？ (eコト<sup>®</sup>. 1)
  - はい
  - いいえ
- あなたのご意見は本誌会告「編集室」に掲載される場合があります。その場合 (eコト<sup>®</sup>. 2)
  - 実名可 (氏名のみ掲載)
  - 匿名希望
- 今月号 (1996 年 3 月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。  
あなたの評価は年度の Best Author 賞選定の際の資料となります。  
評価は以下の 5 段階評価をお願いします。
  - 大変参考になった。
  - 良い。
  - 普通、どちらとも言えない。
  - 悪い。
  - 読んでいない。

### 記事

#### 〔情報処理最前線〕

- ODA：多様な文書のための標準様式 (eコト<sup>®</sup>. 3-1) ( )  
情報システム基盤技術としての SGML (eコト<sup>®</sup>. 3-2) ( )

#### 特集：シミュレーション技術の最近の動向

- 最近のシミュレーション技術とその動向について (eコト<sup>®</sup>. 3-3) ( )
  - 2.1 離散系シミュレーション言語 GPSS V および GPSS WORLD (eコト<sup>®</sup>. 3-4) ( )
  - 2.2 離散系シミュレーション言語 SIMSCRIPT II.5 (eコト<sup>®</sup>. 3-5) ( )
  - 2.3 連続型シミュレーション言語 ACSL の概要 (eコト<sup>®</sup>. 3-6) ( )
  - 2.4 動的シミュレーションソフトウェア MATLAB/SIMULINK (eコト<sup>®</sup>. 3-7) ( )
  - 2.5 統合型シミュレーションフレームワーク ARENA (eコト<sup>®</sup>. 3-8) ( )
  - 2.6 離散型・連続型記述言語 SLAM II (eコト<sup>®</sup>. 3-9) ( )
  - 2.7 オブジェクト指向型離散系シミュレーション言語 MODSIM II (eコト<sup>®</sup>. 3-10) ( )
  - 2.8 連続型シミュレーションシステム “SLCS V” (eコト<sup>®</sup>. 3-11) ( )
- 解説：VDT 作業従事者と健康 (eコト<sup>®</sup>. 3-12) ( )  
連載講座：「算術演算回路のアルゴリズム」3. 除算回路のアルゴリズム (eコト<sup>®</sup>. 3-13) ( )  
事例：STAR OFFICE による社内情報ネットワークの構築 (eコト<sup>®</sup>. 3-14) ( )

- 特に興味をもってお読みになった記事・著者への質問・今後読んでみたい企画などをお書きください (eコト<sup>®</sup>. 4).  
〔意見／質問／要望／その他〕(○で囲む).

i. (a) お名前 (eコト<sup>®</sup>. 5-1)

(b) ご所属 (eコト<sup>®</sup>. 5-2) 〒

Tel. ( ) -

〒 108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7 F

(社) 情報処理学会 モニタ係 Fax.(03)5484-3534 e-mail: editj@ipsj.or.jp

電子メール使用の際の記入法)

たとえばあなたが、「非モニターで匿名を希望され、上記の記事について順に「a」、「c」、「e」…の評価を下す場合、初めに巻号数 37-3 を「subject:37-3」と入れ、以下 (eコト<sup>®</sup>) を冠して、[1-b, 2-b, 3-1-a, 3-2-c, 3-3-e, … 5-1 鈴木太郎, -2, 新宿区西新宿…] という具合にしてください。

【アンケートを編集委員会の活動に反映していきたいと考えています。できるだけ月末までにお出しください。】

# 37 巻 3 号掲載広告目次<五十音順>

|                          |                             |
|--------------------------|-----------------------------|
| アークブレイン ……………前付 6        | ソフト・リサーチ・センター ……………前付 1 1 下 |
| アスキー ……………前付 3           | テレポート'96 東京……………前付 8        |
| NEC ……………表 2 対向          | トライテック ……………前付 4            |
| NTTソフトウェア ……………目次前       | 日本鋼管 ……………前付 5              |
| エルゼビアサイエンスジャパン ……………表紙 3 | ネットワンシステムズ ……………前付 2        |
| オーム社 ……………前付 9           | 培風館 ……………前付 1 2 下           |
| 共立出版 ……………前付 1 0         | 日立製作所 ……………表紙 2             |
| 近代科学社 ……………前付 1 1 上      | 富士通 ……………表紙 4               |
| サイエンス社 ……………前付最終         | マッキンゼーアンドカンパニー ……………前付 7    |
| 昭晃堂 ……………前付 1 2 上        | 山本秀策特許事務所 ……………前付 1 3 上     |

## ■広告料金表

| 掲 載 場 所           | 色 | スペース | 料 金 (円) |
|-------------------|---|------|---------|
| 表紙2               | 4 | 1    | 300,000 |
| 表紙3               | 4 | 1    | 250,000 |
| 表紙4               | 4 | 1    | 350,000 |
| 表2対向              | 4 | 1    | 270,000 |
| 前付                | 4 | 1    | 250,000 |
| 前付                | 2 | 1    | 150,000 |
| 前付                | 1 | 1    | 120,000 |
| 前付                | 1 | 1/2  | 70,000  |
| 前付最終              | 1 | 1    | 135,000 |
| 目次前               | 1 | 1    | 135,000 |
| 差込み (110kg まで)    |   | 1丁   | 250,000 |
| 差込み (110kg～135kg) |   | 1丁   | 300,000 |

## ■体裁

| 判 型     | B5判     |
|---------|---------|
| 発 行 部 数 | 33,000部 |
| 発 行 日   | 毎月15日   |
| 印 刷 方 法 | オフセット   |

## ■広告原稿

|           |                      |
|-----------|----------------------|
| 申 込 締 切 日 | 前月10日                |
| 原 稿 締 切 日 | 前月20日                |
| 原 稿 寸 法   | 1P 天地225mm×左右150mm   |
|           | 1/2P 天地105mm×左右150mm |
| 原 稿 形 態   | ポジフィルム               |

\*上記料金には、消費税は含まれておりません。断切広告  
は上記料金の10%増です。  
\*広告は、コート紙を使用して印刷いたします。  
\*表紙4のサイズは、天地220mm×左右150mmです。

## ■広告申込先／加が\*・資料請求先

(社) 情報処理学会 学会誌編集係 e-mail:editj@ipsj.or.jp  
〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

## 「情報処理」カタログ・資料請求用紙

Vol. No.

掲載広告のカタログ・資料をご希望の方はこの用紙をFAXするか、またはe-mailの場合はsubject:に  
kokoku,巻号を記入のうえ記号によってご請求ください。例：kokoku,36-3

| 広告頁              | 会社名                    | 製品名  | 希望項目 |
|------------------|------------------------|------|------|
| a-1:             | b-1:                   | c-1: | d-1: |
| a-2:             | b-2:                   | c-2: | d-2: |
| a-3:             | b-3:                   | c-3: | d-3: |
| a-4:             | b-4:                   | c-4: | d-4: |
| 読者希望項目           | 1.カタログ 2.価格表 3.説明 4.購入 |      |      |
| 勤務先/学校名<br>部課/学科 | e:                     |      |      |
| 所 在 地            | f:                     |      |      |
| ご 芳 名            | g:                     | 年齢h: | 電話i: |

あなたの勤務先に該当するものに○印を

j:<業種>1.コンピュータ製造業 2.電気通信関係製造業 3.通信関係製造業 4.ソフトウェア業 5.官公庁 6.学校 7.その他  
k:<職種>1.研究・開発 2.SE・プログラマ 3.製造・生産 4.企画・調査 5.営業販売 6.総務・経理 7.会社役員 8.その他

# 情報処理学会 入会のおすすめ

21世紀に向け、本会は情報処理分野の情報発信者として指導的役割を果たしてゆくため、多くの会員とともに情報処理の学術・技術にかかわる調査研究活動を積極的に進め、これらの成果を機関誌、大会、シンポジウム等を通じて発表しております。また、これらの活動について学界・官界および産業界の支援をも得て、社会と文化の発展に貢献していきたいと願っております。

新しい情報化社会の人材として、お近くに情報処理に関心をお持ちの方、情報処理関連の学術研究、開発あるいは事業に携わっている方で入会をご希望の方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

(URL-<http://www.ipsj.or.jp>)

## [設立の目的]

社団法人情報処理学会 (Information Processing Society of Japan) は 1960 年 4 月に電子計算機等を中心とした情報処理に関する学術、技術の進歩発展を図り、会員相互間および関連学協会との連絡研修の場となり、もって学術文化の発展に寄与することを目的として文部省認可の学術法人として設立されました。

## [会員構成と活動概要]

会員 (約 3 万名) は、情報処理に関する学術、技術の習得に情熱を傾けている勉学の士から、大学・企業の研究者・技術者さらには情報機器の利用者に至るまで、幅広い層の方々が参加されており、専門領域はもちろん、境界領域、新しい領域の分野についても、活発に学術、技術の討論を行うことにより、新たな知識を揚げつつ、交流を深め、常に時代を先取りする同志の集まりで構成されています。

日々発展しつつあるこの分野においてのリーダー的存在として、新しい時代に向け、情報処理のさらなる研究・調査活動やその成果の発表を通して社会に貢献しております。また、地域に密着した活動を展開するため、現在、全国に 8 つの支部を設けております。

## [事業活動]

### 1. 調査研究活動

領域制を設け 3 つの領域に研究会が参加し、情報処理全般にわたる分野で精力的に調査・研究活動を進めており、調査委員会のほか、研究会、シンポジウム、講習会、セミナー等で積極的に研究・開発を行うとともに成果発表を行い、会員相互間の学術・技術の研修に役立てております。

また、文部省の委嘱研究 (情報処理教育カリキュラム等) をとおして、わが国の情報処理の学術・技術の教育を向上するため活動しております。

調査委員会……特定の課題について、調査研究または提言を行います。

領域……コンピュータサイエンス、情報環境、フロンティアの 3 つの領域を設け、各領域に各研究会が所属して活動しています。

研究会……研究分野ごとに会を組織し、会員による研究発表会を開催するとともに、研究報告を作成しています。

研究グループ……特定分野の短期集中的研究開発や、新しい研究分野となり得る萌芽的研究を行います。

シンポジウム・講習会・セミナー等……各研究分野で成果を発表し、活発に意見・情報の交換をしています。

### 2. 全国大会

分野、所属ならびに世代を越えて、情報処理に係わる最新の学術と技術動向や、情報に関する新しい研究成果やアイデアの発表などをし、意見を交換・交流する場として全国大会があります。一般講演に加えて招待講演、公開パネル討論、シンポジウムなど会員にとって新しい研究の情報を得られるテーマを企画し 3 日間にわたって開催されます (年 2 回 (春、秋))。

### 3. 機関誌の発行

「情報処理」(月刊)：親しみやすく、分かりやすくをモットーに、魅力あるテーマを解説するほか、機関誌として会員相互の交流や啓発、連絡事項等を掲載しています。

「情報処理学会論文誌」(月刊)：会員の原著で学術雑誌に未発表の論文を査読し、採択して掲載しています。

### 4. 国際交流

情報処理国際連合(IFIP)に日本を代表してその創設から加盟しています。また、東南アジア地域コンピュータ連合(SEARCC)へ加盟のほかIEEE-CS、ACM、その他各国のコンピュータ関係学協会と提携して国際会議の共催を行うなど国際的視野に立って活動し、会員に海外学協会等との情報交換の場を提供するとともに日本の情報処理技術の向上に寄与しています。

### 5. 標準化

ISO(国際標準化機構)、IEC(国際電気標準会議)、JISなど情報処理に関する規格・標準規格の調査研究を行い、研究および調査結果の報告は、学術図書などとして発表しています。

情報技術標準化フォーラムの開催、情報技術標準 Newsletter の発行を行っています。

### 6. 関連学協会

日本学術会議をはじめ日本工学会傘下の学協会と共催で、シンポジウム、講習会等を開催し、学協会相互間の交流ならびに、会員相互の情報交換を活発に行っております。また、特に関係の深い電気、電子情報通信、照明、テレビジョン学会とは電気・情報関連学会連合大会を年1回共同で開催しております。

### 7. 表彰

本会の事業に対する顕著な功労者、優れた論文の著者、研究発表者などの会員を対象に、各種の賞(功績賞、論文賞、Best Author賞、坂井記念特別賞、山下記念研究賞、大会優秀賞、大会奨励賞)を設け、会員の学術、技術の向上を奨励しています。

### 8. 出版

「情報処理ハンドブック」、「情報フロンティアシリーズ」など情報科学・工学関連分野の出版物の編纂を行っています。

### 9. 支部活動

全国に8支部(北海道・東北・東海・北陸・関西・中国・四国・九州)を設け、地域の実情にあわせて独自の調査研究活動を行うとともに、それぞれ研究発表会、講演会、見学会など地域に密着した活動を行っており、活動内容は学会誌の「支部だより」に掲載されております。

## [会 員 種 別]

- ・ 個人会員 (正会員) ……専門の学識または相当の経験を有する者  
(学生会員) ……大学院、大学、短大、高専、専門学校またはこれに準ずる学校の在學生(研究生は除く)
- ・ 賛助会員 ……本学会の目的事業を賛助する者または団体
- ・ 海外会員 ……海外学会(ACM、IEEE-CS)の会員で、本学会の目的に賛同し、海外に居住する者

## [購 読 員 種 別]

- ・ 国内購読員 ……大学、教育機関、官公立の研究機関、図書館あるいはこれに準ずる団体  
賛助会員である企業の事業所あるいは研究所
- ・ 海外購読員 ……論文誌のみの購読を希望する海外在住の個人あるいは団体

注) 会員資格はありません。

会 員 特 典

- ・学会誌「情報処理」(月刊)が無料で配布されます。
- ・論文誌\*に投稿(除く賛助会員)ができます。
- ・会員特価で研究会\*に登録ができます(研究報告無料配布・研究発表)。
- ・会員特価で全国大会\*での論文発表ができます。
- ・本学会が主催、共催、協賛するシンポジウム、講習会、セミナー等の行事に会員特価で参加できます。
- ・正会員は学術情報センターの情報検索サービスが利用できます。
- ・ACM会費が20%割引になります。IEEE-CS準会員の特典が受けられます。
- ・電気・電子情報通信・照明・テレビジョン各学会に入会する際、当学会の発行する在会証明書を添付すると入会金の免除が受けられます。
- ・希望者には、IAPR NEWSLETTERを配布します。
- ・正会員には本会役員選挙権／被選挙権、総会出席権ならびに議決権があります。
- ・本学会編集図書が会員価格で購入できます。
- ・賛助会員は口数により、研究会登録が優遇されます。
- \* 優秀な論文や研究発表者には賞が与えられます。

入会金・年間会費等について

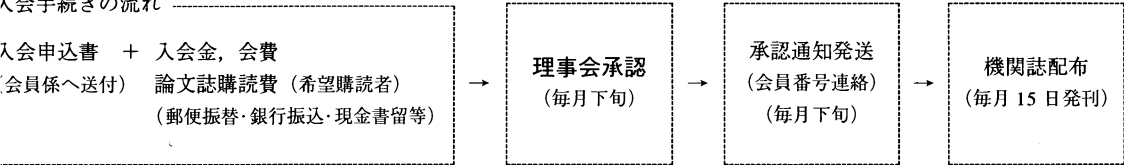
|         | 入会金*2   | 会 費         | 学 会 誌                          | 論 文 誌*3 | 研 究 会 登 録*4 |
|---------|---------|-------------|--------------------------------|---------|-------------|
| 正 会 員   | 2,000 円 | 9,600 円     | 無料配布                           | 6,600 円 | 有料(毎年改定)    |
| 学生会員    | 免除      | 4,800 円     | 無料配布                           | 6,600 円 | 有料(毎年改定)    |
| 海外会員    | -----   | 5,700 円     | 無料配布                           | 6,600 円 | 有料(毎年改定)    |
| 賛助会員*1  | -----   | 1口 50,000 円 | 無料配布                           | 6,600 円 | 口数により優遇     |
| 国内購読員*1 | -----   | -----       | 1口 26,880 円<br>(学会誌、論文誌セット)配 布 |         | -----       |
| 海外購読員   | -----   | -----       | -----                          | 6,600 円 | -----       |

- ：1. 賛助会員・購読員は何口でも加入できます。
- ：2. 正会員入会希望の方で、電気・電子情報通信・照明・テレビジョン各学会員の方は、入会申込書送付の際に在会証明書を添付していただければ入会金が免除となります。
- ：3. 非会員の論文誌購読費は 16,200 円 (年間)。
- ：4. 研究会登録詳細については、直接研究会担当までお問い合わせください。

正・学生会員の入会手続きについて

「入会申込書」に所要事項をご記入の上、事務局本部会員係宛にご郵送いただき、同時に入会金、会費等も次項の口座にお振り込みください。入会手続処理は毎月中旬に行い、機関誌配布は翌月号からの送付となります(希望により残部の限り当該年度のバックナンバーの送付可)。

入会手続きの流れ



- ：1. 8 月は理事会の開催がありませんので翌月の入会処理となります。
- ：2. 正・学生会員以外の手続きについては本部会員係まで、情報規格調査会(標準化)の詳細については分室へお問い合わせください。

## [振込み先]

郵便振替 00150 - 4 - 83484  
第一勧業銀行虎ノ門支店 (普) 1013945  
三菱銀行虎ノ門公務部 (普) 0000608  
(三菱銀行は、平成8年4月1日より東京三菱銀行に変更となります。)

名 義 人 社団法人 情報処理学会

## [個人会員の一括扱いについて]

同一事業所または研究所等に10名以上の会員がいる場合には、会員の希望により会費の納入ならびに機関誌の配布を一括扱いにすることができます。詳細は事務局会員係までお問い合わせください。

## [会費および論文誌購読費の口座自動振込制度について]

個人会員（一括扱いを除く）の方は、銀行または郵便局の口座をご登録いただければ、次年度からの会費・購読費を毎年3月（または7月）27日（休日の場合は翌営業日）にご指定の口座から自動振替により、納入することができます。

口座自動振替制度は手続きが簡単で便利です。是非ご登録ください。

注）新入会時の口座自動振替納入の取扱いはできません。

### \*\*\* 申込方法 \*\*\*

#### ①銀行口座登録の場合

入会申込書ご送付の際に「預金口座振替依頼書」もあわせて事務局会員係宛に郵送してください。

#### ②郵便口座登録の場合

お近くの郵便局に通帳、印鑑をご持参いただき郵便局備付けの「自動振込利用申込書」に必要事項（下記参照）をご記入のうえ、窓口へ提出してください。

#### 「自動振込利用申込書」記入方法

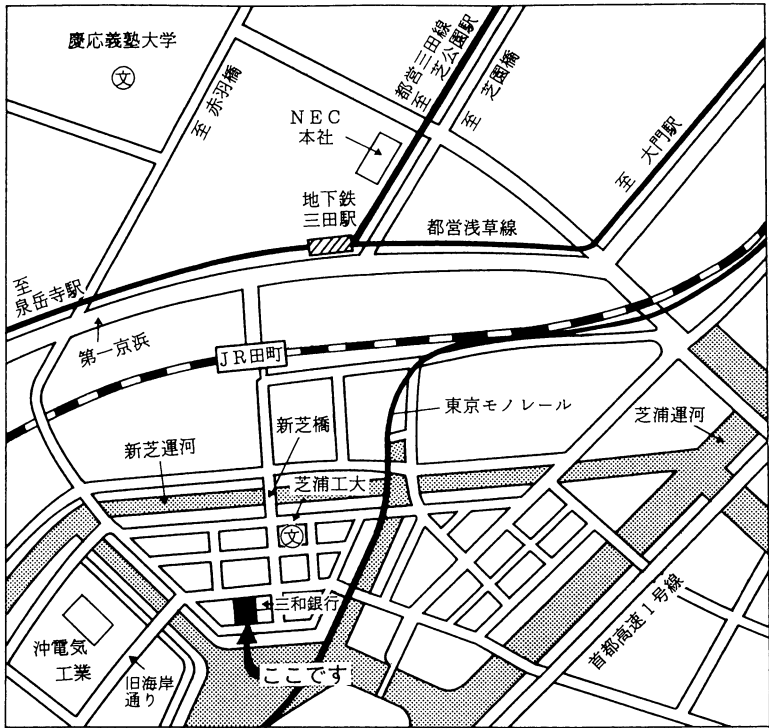
振込先口座番号 : 00150 - 4 - 83484  
振込先加入者名 : 社団法人 情報処理学会  
払込開始月 : 毎年3月（または7月）  
払込日 : 27日  
払込金の種類 : 会費 33  
料金等支払人 : 会員氏名と口座名義人が違う場合には、必ず会員氏名を記入してください。  
備 考 : 会員番号を必ずご記入ください。

## [会員資格等について]

会員資格は、毎年度（4月～翌年3月）自動継続となります。会費の滞納が1ケ年以上におよぶときは、その直後の総会の議決を経て除名することがあります。なお、退会を希望する場合は、退会届（会員番号・氏名・退会年月・退会希望の旨とその理由を明記したもの）を書面等で必ず提出してください（FAX, e-mail 可）。

事務局所在地]

本部 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7 F  
TEL(03)5484-3535 FAX(03)5484-3534  
e-mail : mem@ipsj.or.jp



分室 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3  
(情報規格調査会) TEL(03)3431-2808 FAX(03)3431-6493  
e-mail:standard@itscj.ipsj.or.jp

各支部

北海道

東北 (青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島)

東海 (静岡, 愛知, 岐阜, 三重, 長野)

北陸 (富山, 石川, 福井)

関西 (滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山)

中国 (鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口)

四国 (徳島, 香川, 愛媛, 高知)

九州 (福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄)

## [1996 年の主な活動予定]

### 1. 研究会 (26)

研究会活動は自主独立化, 活性化を推進するため, 領域制を設け活発に活動しております. 3 領域, およびそれぞれに所属する研究会は以下の通りです. 各研究会ごとに年 1 回以上の研究発表会を開催しております.

#### ・コンピュータサイエンス (CS / 9)

データベース/ソフトウェア工学/計算機アーキテクチャ/システムソフトウェアとオペレーティング・システム/設計自動化/ハイパフォーマンスコンピューティング/プログラミング/アルゴリズム/数理モデル化と問題解決

#### ・情報環境 (IE / 10)

マルチメディア通信と分散処理/ヒューマンインタフェース/グラフィクスと CAD /情報システム/情報学基礎/情報メディア/オーディオビジュアル複合情報処理/グループウェア/分散システム運用技術/デジタル・ドキュメント

#### ・フロンティア (FR / 7)

自然言語処理/人工知能/コンピュータビジョンとイメージメディア/コンピュータと教育/人文科学とコンピュータ/音楽情報科学/音声言語情報処理

### 2. 全国大会の開催

第 52 回全国大会—平成 8 年 前期 (電 通 大, 3 月 6 日～8 日)

第 53 回全国大会—平成 8 年 後期 (大阪工大, 9 月 4 日～6 日)

### 3. 学会誌『情報処理』特集

「計算物理学と超並列計算機」(Vol.37 No.1)

「マルチメディア社会をめぐる法律問題」(Vol.37 No.2)

「シミュレーション技術の最近の動向」(Vol.37 No.3)

「並行計算の理論の最近の動向」(Vol.37 No.4)

「第五世代コンピュータプロジェクトの成果と残された課題」(Vol.37 No.5)

「データベース関連技術の標準化」(Vol.37 No.6)

「暗号安全性の最近の動向」

「計算機ベンチマークの最新動向」

「デジタル図書館」

「ゲノム情報」

### 4. シンポジウム等の開催

HI プロフェッショナル・ワークショップ

(湘南国際村, 5 月 24 日～25 日)

1996 年並列処理シンポジウム

(早大, 6 月 18 日～20 日)

第 1 回情報メディア・ワークショップ

(富士通, 7 月 5 日)

オブジェクト指向'96 シンポジウム

(早大, 7 月 8 日～9 日)

画像の認識・理解シンポジウム

(奈良県新公会堂, 7 月 17 日～19 日)

画像符合化およびネットワークセキュリティ・シンポジウム

(早大, 6 月)

DA シンポジウム'96

(西浦温泉 (蒲郡), 8 月 29 日～31 日)

ドメイン分析シンポジウム

(上智大, 9 月 12 日～13 日)

第 6 回情報メディア・シンポジウム

(工学院大, 9 月 12 日～13 日)

マルチメディア通信と分散処理ワークショップ

(十和田, 10 月 23 日～25 日)

コンピュータシステム・シンポジウム

(箱 根, 11 月 7 日～8 日)

産業空洞化と情報処理教育

(未 定, 11 月 22 日)

第 2 回情報メディア・ワークショップ

(京 都, 11 月 22 日)

テレマティクス・シンポジウム

(東 京, 11 月)

グループウェア'96 シンポジウム

(慶大, 11 月 28 日～29 日)

|                          |                            |
|--------------------------|----------------------------|
| アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム | (工学院大, 12月2日～4日)           |
| 利用者指向の情報システム・シンポジウム      | (東京, 12月5日～6日)             |
| 問題発見とモデル化ー現場の実例ー         | (機械振興会館, 12月6日～7日)         |
| 1997年情報学シンポジウム           | (日本学術会議講堂, 1997年1月16日～17日) |
| ウインターワークショップ             | (未定, 1997年1月23日～24日)       |
| 分散システム運用技術シンポジウム '97     | (情報処理学会, 1997年2月6日～7日)     |
| マルチメディア/マルチモーダル・インタフェース  | (早大, 1997年2月13日)           |

#### 5. 連続セミナー '96 の開催 (工学院大, 6月～, 6回/年)

テーマ: ネットワークコンピューティング時代の情報処理技術

- 第1回 インターネット技術の最新動向と活用事例 (仮題) (6月)
- 第2回 オブジェクト指向技術によるソフトウェア開発 (仮題) (7月)
- 第3回 新しいオフィスのためのコラボレーションとコミュニケーション (仮題) (9月)
- 第4回 コンピュータ技術とエンタテインメント (仮題) (11月)
- 第5回 パーソナルコンピューティングの最新動向 (仮題) (1997年1月)
- 第3回 電子商取引の現状と将来 (仮題) (1997年3月)

#### 6. 小規模国際会議の開催

第4回ラフ集合・ファジィ集合・機械発見に関する国際会議 (東大, 山上会館, 11月6日～8日)

#### 7. 国際会議の開催

|                            |                                    |
|----------------------------|------------------------------------|
| マルチメディア ジャパン 96            | (パシフィコ横浜, 3月18日～20日)               |
| 第4回並列処理と分散処理に関する国際会議       | (ホテルストラダ新宿, 6月3日～6日)               |
| 1996年東南アジア地域コンピュータ連合国際会議   | (タイ・バンコク, 7月4日～7日)                 |
| 第14回 I F I P 世界コンピュータ会議    | (オーストラリア・キャンベラ, 9月2日～6日)           |
| 第6回生産マネジメント・システム国際会議       | (京都国際会館, 11月4日～6日)                 |
| 1997年アジア南太平洋設計自動化会議        | (日本コンベンションセンター,<br>1997年1月28日～31日) |
| 第11回システム同定に関する国際自動制御連盟学術会議 | (アクロス福岡, 1997年7月8日～11日)            |
| 第20回ソフトウェア工学国際会議           | (国立京都国際会館, 1998年4月19日～25日)         |

#### 8. 新たに発行される出版物

英文図書 “Advanced Information Processing Technology” (4冊/年)

#### 関連学協会一覧]

##### Ⅰ 内 団 体

|     |                                                     |
|-----|-----------------------------------------------------|
| 和 名 | 日本学術会議                                              |
| 欧 名 | Science Council of Japan                            |
| 所在地 | 〒106 東京都港区六本木 7-22-34                               |
| 電 話 | 03-3403-6291      FAX      03-3403-1982 (学術課・情報国際課) |

|     |                                                      |
|-----|------------------------------------------------------|
| 和 名 | 社団法人 日本工学会                                           |
| 欧 名 | The Japan Federation of Engineering Societies (JFES) |
| 所在地 | 〒107 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3F                         |
| 電 話 | 03-3475-4621      FAX      03-3403-1738              |

|     |                                                          |
|-----|----------------------------------------------------------|
| 和 名 | 文部省 学術情報センター                                             |
| 欧 名 | National Center for Science Information Systems (NACSIS) |
| 所在地 | 〒112 東京都文京区大塚 3-29-1                                     |
| 電 話 | 03-3942-2351 (代表)      FAX      03-3942-6900             |

|     |                                                                |
|-----|----------------------------------------------------------------|
| 和 名 | 日本科学技術情報センター                                                   |
| 欧 名 | The Japan Information Center of Science and Technology (JICST) |
| 所在地 | 〒102 東京都千代田区四番町 5-3                                            |
| 電 話 | 03-5214-8401 (総務課)      FAX      03-5214-8400                  |

和 名 社団法人 電気学会  
 欧 名 The Institute of Electrical Engineers of Japan (IEEJ)  
 所在地 〒 100 東京都千代田区有楽町 1-12-1  
 電 話 03-3201-0983 FAX 03-3201-1983

和 名 社団法人 電子情報通信学会  
 欧 名 The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers (IEICE)  
 所在地 〒 105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内  
 電 話 03-3433-6691 FAX 03-3433-6659

和 名 社団法人 照明学会  
 欧 名 The Illuminating Engineering Institute of Japan  
 所在地 〒 101 東京都千代田区神田司町 2-8-4 吹田屋ビル 3F  
 電 話 03-5294-0101 FAX 03-5294-0102

和 名 社団法人 テレビジョン学会  
 欧 名 The Institute of Television Engineers of Japan (ITE of Japan)  
 所在地 〒 105 東京都港区芝公園 3-5-8  
 電 話 03-3432-4677 ~ 9 FAX 03-3432-4675

## 海外団体

- ・ IFIP
  - 名 称 International Federation for Information Processing
  - 所在地 Hofstrasse 3, A-2361 Laxenburg, Austria
  - 電 話 +43-2236-73616 FAX +43-2236-736169 e-mail ifip@ifs.univie.ac.at
- \* 日本代表事務局
  - 所在地 〒 185 東京都国分寺市光町 2-8-38 鉄道総合研究所 田中研究室 後藤浩一
  - 電 話 0425-73-7310 FAX 0425-73-7367 e-mail goto@hp720.rtri.or.jp
- ・ IEEE
  - 名 称 The Institute of Electrical and Electronics Engineers, INC.
  - 所在地 345 East 47th Street, New York, N.Y. 10017, U.S.A.
  - 電 話 +1-212-705-7900 FAX +1-212-705-7182
- \* 東京支部
  - 所在地 〒 211 川崎市中原区上小田中 1015 (株) 富士通研究所内 IEEE 東京支部事務局
  - 電 話 044-754-2657 FAX 044-754-2405
- ・ IEEE-CS (Affiliate Membership (準会員))
  - 名 称 IEEE Computer Society
  - 所在地 1730 Massachusetts Avenue, NW Washington, DC 20036-1992, U.S.A.
  - 電 話 +1-202-371-0101 FAX +1-202-728-9614
- \* アジア・パシフィック オフィス
  - 所在地 〒 107 東京都港区南青山 2-19-1 大島ビル
  - 電 話 03-3408-3118 FAX 03-3408-3553 e-mail tokyo-ofc@computer.or.jp
- ・ ACM (Joint Membership)
  - 名 称 Association for Computing Machinery
  - 所在地 1515 Broadway, New York NY 10036-5701 U.S.A.
  - 電 話 +1-212-869-7440 +1-212-626-0500 (会員サービス)
  - F A X +1-212-944-1318 e-mail acmhelp@acm.org
- \* 日本事務局
  - 所在地 〒 107 東京都港区南青山 5-10-5 九曜ビル 903 情報科学国際交流財団気付
  - 電 話 03-5466-1761 FAX 03-5466-1762 e-mail iisf@is.s.u-tokyo.ac.jp
- ・ SEARCC
  - 名 称 South East Asia Regional Computer Confederation
  - 所在地 c/o The Singapore Arts Centre Co. Ltd.
  - 事務局長 Secretary General: Mr. Robert Iau
  - 電 話 +65-337-3711 F A X +65-337-3833
- \* 日本国内連絡先
  - 所在地 〒 108 東京都港区芝浦 3-16-20 (社) 情報処理学会国際担当
  - 電 話 03-5484-3535 FAX 03-5484-3534 e-mail intl@ipsj.or.jp